



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

大学案内

UNIVERSITY GUIDE BOOK

2027



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

<https://www.tmu.ac.jp/>



- 人文社会学部 ● 法学部 ● 経済経営学部 ● 理学部
- 都市環境学部 ● システムデザイン学部 ● 健康福祉学部

南大沢キャンパス

〒192-0397
東京都八王子市南大沢1-1
TEL.042-677-1111(代)

日野キャンパス

〒191-0065
東京都日野市旭が丘6-6
TEL.042-585-8606(代)

荒川キャンパス

〒116-8551
東京都荒川区東尾久7-2-10
TEL.03-3819-1211(代)

学問の力で、 東京から世界の未来を拓く

東京都立大学は、東京都が設置する唯一の総合大学として、本学の特長を活かした教育を実施することにより、社会の変容に応じて活躍できる人材を輩出するとともに、多彩な基礎研究や応用研究、大都市課題研究を推進することで、東京都の発展に貢献し、ひいては世界の未来を拓いていきます。



東京都立大学のあるべき 将来像を描いたトップビジョン

① 高度な研究力と 質の高い教育の好循環

卓越した研究者でもある教員が、高度な研究力に裏付けられた質の高い教育を提供し、高い資質・能力を有する学生と共に議論を深めることで研究力をさらに向上させる「高度な研究力と質の高い教育の好循環」を一層加速させます。

② 学び続ける力を有し、協働して 新たな価値を創造できる人材の育成

幅広い学問分野を有し、真面目な学生が集う本学の特色を活かし、学生と教員の密度の高い対話、異なる価値観を有する学生同士の切磋琢磨を通して、興味・関心の幅を広げ、深く考え抜く力を高めることで、主体性を持って課題を設定し、協働して新たな価値を創造できる人材を育成します。

③ 多様な人々が集い、学び合う、 開かれたキャンパス

国籍、文化、性別、年代、障がいの有無等を超えて多様な人々が集い、学び合い、相互に尊重し合うキャンパスを実現するとともに、生涯を通じた学びに資するため、広く地域や都民に学習や交流の場を提供します。

※登場する人物の所属学部・学科・コース・在籍年次、役職、活動内容等は取材時のものです。※掲載している写真は取材時のものです。

CONTENTS

Hot Topics

02 都立大を深く知る

教育の特長

05 教育の方針

06 教育のシステム

学部・学科紹介

07 都立大の学び

08 学部の構成・特色

09 人文社会学部

10 法学部

11 経済経営学部

12 理学部

14 都市環境学部

17 Pick up: 副専攻コース

18 システムデザイン学部

20 健康福祉学部

Interview

22 都立大の先輩たち

大学院

26 人文科学研究科

27 法学政治学研究科

経営学研究科

28 理学研究科

都市環境科学研究科

29 システムデザイン研究科

人間健康科学研究科

先端研究プロジェクト

30 プロジェクト紹介

34 総合研究推進機構

様々な制度・学生生活

35 学費・減免・奨学金制度

36 グローバル人材育成入試／

国際副専攻コース

T-GLIPs／

共創学部(GLiDe) (構想中)

37 海外留学

外国人留学生受入れ

38 キャリア・就職支援

39 入試制度一覧

40 キャンパスライフ

41 都立大を

もっと知りたいキミへ

丁寧な教育と研究指導で学生のしなやかな知性を育む



東京都立大学は東京都が設置するただ一つの総合大学として、東京都や東京の人々とのつながりを大事にするとともに、幅広い分野において基礎から応用までの研究を進め、人類の知を発展させることを重要な使命としています。

「学問の力で、東京から世界の未来を拓く」に集約される大学ビジョンの下、本学は研究力を強化しつつ国際化を加速させていきます。そこで見据えるのは学生の皆さんの成長です。教職員と学生や学生同士の距離が近いという利点を活かし、丁寧な教育と研究指導により、皆さんのしなやかな知性を育むことに本学は最大限の力を注いでいきます。

地球温暖化、世界各地での武力衝突、感染症などがもたらす将来への不安がある一方、IT技術やAIの発展

がもたらす未来社会が開けようとしています。その中においても、学ぶことと研究することは人類が人類たることの拠り所であり、人類の知恵は困難を乗り越え未来を開拓するためにこそ発揮されるべきと考えます。そのためにも私たちは学問と研究をこれまで以上に力強く推し進めます。

本学の知が集結するキャンパスは、東京都という世界都市にありながら、豊かな自然環境に恵まれています。最先端の研究に触れ、それに取り組む世界の人々との出会いを力にして、ぜひ未来へ羽ばたいてください。

私たちは皆さんの挑戦を全力で支援していきます。

東京都立大学 学長 大橋 隆哉

東京都立大学の沿革

本学の前身校

- ・東京都立大学が1949年に開学
- ・東京都立科学技術大学が1986年に開学
- ・東京都立保健科学大学が1998年に開学
- ・東京都立短期大学が1996年に開学

首都大学東京の開学

- ・上記4大学を統合し首都大学東京が2005年に開学

組織再編

- ・2018年に学部・大学院の構成を7学部23学科、7研究科14専攻に再編

大学名称の変更

- ・2020年に本学の名称を「首都大学東京」から「東京都立大学」に変更

01

グローバル視点で放射線治療の可能性を広げていく。
充実した設備が後押しする新たな挑戦



Hot Topics

都立大を深く知る

都立大では、これからの時代を見据えながら、
様々な授業の方法を確立しています。
ローカルかつグローバルな、幅広い視野が
得られる「学びの場」を要チェック！

詳しく知るなら
こちらから！



02

考えを言葉にする力が、世界をひらく。
文化・芸術を探究して思考を深める、
表象文化論教室での学び



04

阪公戦の情熱を未来へ
東西の誇りをかけた、
学生たちの挑戦



03

文系から理系、そして起業家へ。
システムデザイン研究科で培った
「越境する力」が生んだスマートフットウェア



01 放射線治療の質を向上させ、安全性を高める「放射線治療物理学」



健康福祉学部の張維珊准教授は、放射線治療物理学を専門とし、放射線の計測や粒子線治療の精度向上に取り組んでいます。研究室では陽子線の計測モデル化や第三者評価システムの開発を行い、国際的な連携を通じて次世代の医療技術を探求。実際の装置を用いた実習や少人数教育により、学生は理論と実践を結びつけながら学びを深めています。

Point

学生の声

「気軽に相談できる温かい雰囲気をつくってくれるおかげで、疑問をそのままにせず学びを深められています」健康福祉学部放射線学科 浜田流星さん。

Profile

張維珊准教授

健康福祉学部 放射線学科 准教授。博士(放射線学)。専門は医学物理(放射線治療学)、放射線計測学。

CHECK!



02 文化・芸術の探究を通して、世界の「見え方」を刷新する



聴覚文化論を専門とする福田貴成教授。所属する表象文化論教室では、ポピュラー文化を含む多様な芸術表現を多角的に探究しています。自分の興味を入口に、少人数の演習で自由に議論し、専門的な学びを深められるのが特徴です。文化・芸術に関する幅広い知見を修得することはもちろん、自分の考えを言語化する力を養い、複数の視点から物事を捉える力を身につけることができます。

Point

学生の声

「点と点で学んでいたと思ったら、あるときどんだ線が繋がっていく。それが表象文化論を学ぶ面白さかもしれません」人文社会学部 人文学科表象文化論教室 宮崎萌さん。

Profile

福田貴成教授

人文社会学部 人文学科 教授。博士(学術)。専門は聴覚文化論・音楽文化論。

CHECK!



03 「やりたいこと」を実現するための、「武器」を身に付けたい



システムデザイン研究科を修了した菊川さんは、「日常的なモノを楽器にする」という着想から、靴型デバイスを研究開発し、スペイン留学を経て、仲間と共に株式会社 ORPHE を設立。現在は、当時の研究をもとにスマートフットウェアの技術を健康・福祉分野へと広げています。大学で培った「研究は誰の役に立つのか」という問いが、今の仕事の根底にあると語ります。

Point

菊川さんからのメッセージ

都立大は、やりたいことを実現するための“実験場”のような場所です。自分の興味を信じて、どんどん打席に立ってほしいですね。

Profile

菊川裕也

首都大学東京大学院 システムデザイン研究科システムデザイン専攻インダストリアルアート学域 博士前期課程 2015年度修了。

CHECK!



04 阪公戦の情熱を未来へ。東西の誇りをかけた、学生たちの挑戦



本大会は、単なるスポーツ大会という枠を超え、両校の誇りをかけた一大イベントとして位置付けられています。アイスホッケー、剣道、サッカー、柔道、硬式野球など、約20に及ぶ競技団体が参加し、学生・教員が一丸となって総合優勝を目指し、互いにしのぎを削ります。この多岐にわたる競技を一堂に会して行う規模の大きさは、本大会の大きな特徴の一つです。

Point

阪公戦の歴史

大阪公立大学と東京都立大学の体育会教員の話し合いから始まった、阪公戦(旧府大戦)は、大学統合・改名を経ても伝統を守り続けてきました。第1回大会は1953年に都立大キャンパスで7競技のみで開催。競技を通じて、両校の学生同士が交流と絆を深める重要な機会です。

CHECK!



教育の方針

学び続ける力を有し、協働して新たな価値を創造できる人材を育成します。

アドミッション・ポリシー

本学では、十分な基礎学力とともに、次のような資質を有する学生を求めます。

- 1 知的好奇心にあふれ、未知のものにチャレンジする人
- 2 独創的な発想に富み個性豊かな人
- 3 人とのかかわりを大切にし、社会に貢献する人
- 4 向上心が強く努力を惜しまない人

ディプロマ・ポリシー

学士課程教育において、人類共有の知的資産である学術研究に裏打ちされた専門分野の基本的な知識・理解及び技術並びに幅広い教養を身に付けさせるとともに、普遍的に有用性を持つ能力を獲得させ、首都東京の諸課題、我が国や世界の課題の解決に貢献し、広く社会で活躍できる人材を育成します。

獲得すべき学修成果

1 知識・理解及び技術

●専門的な知識・理解及び技術

自らの専門分野の理論・概念の概要を理解するとともに、方法論に関する基本的知識を身に付けており、情報・データを活用して、社会生活及び職業生活における課題解決のために応用することができる。

●幅広い教養としての知識・理解

また、自らの専門とは異なる分野・領域についての知識やものの考え方、多角的な視野など、社会人として必要な幅広い教養を身に付けており、人間・社会や自然・生命に関する様々なテーマについて考え、理解を深めることができる。

2 普遍的に有用性を持つ能力

●コミュニケーション能力

自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとき、相手の意見や疑問を的確に理解し、協調して行動することができる。

●情報活用能力

情報通信技術等を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。

●総合的問題思考力

持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。

●論理的思考力

論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。

●能動的学修姿勢

自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。

●倫理観、社会的責任の自覚

高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。

●異なる文化・社会への理解

異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。

カリキュラム・ポリシー 教育課程の編成及び実施に関する方針

教育課程ごとのカリキュラム・ポリシーは総合ホームページで公表しております。

教育のシステム

革新的なカリキュラムによる
教育を展開します。

CHECK!



分野横断・文理融合型 全学共通科目

- 基礎科目群
現場体験型しごと研究(実習)
- 基盤科目群
- 教養科目群



多様な視点や
モノの見方が身に付く!

1年次から経験できる 分野を超えた自由な学び

都立大の学びは基礎や教養を身に付けるための「全学共通科目」から始まります。その中の「基礎ゼミナール」では、他学部生と協働して問題解決に取り組むことで能動的な学修姿勢を身に付けます。2年次以降も自由度の高いカリキュラムで分野横断を含めた学びの意欲に応えます。

専門教育

専門教育科目群

- 副専攻
教理・データサイエンス副専攻コース
観光マネジメント副専攻コース
人間健康科学副専攻コース
- 教職課程・学芸員養成課程



先進的な専門的知識や
技術が身に付く!

高い専門性と幅広い自由度で 飽くなき学びの場を提供

学部・学科の教育内容に沿って多数の専門教育科目が配置され、専門的知識や技術を修得できます。多くは3・4年次に履修しますが、1年次から履修可能な専門教育科目もあります。また、所属学科以外のカリキュラムを履修する副専攻や、教職課程・学芸員養成課程も設置しています。

グローバル教育

- グローバル人材育成入試・国際副専攻コース
- 留学プログラム
- 海外派遣プログラム



充実したプログラムで
価値ある経験が得られる!

入試から卒業まで グローバル志向の制度が充実

国際社会での活躍に高い意欲を持つ学生のための、海外留学を必修とする「国際副専攻コース」をはじめ、充実した留学プログラムなど、入試から卒業まで多彩な制度を整え、国籍の違いを超えて協働できるグローバル人材の育成に取り組んでいます。

4年間の履修の流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
全学共通科目	基礎科目群 大学での学修に必要な基礎的な知識や技術を身に付ける	基礎ゼミナール 言語科目 情報科目 理系共通基礎科目 保健体育科目 キャリア教育科目 現場体験型しごと研究(実習)	自己の表現力やプレゼンテーション能力を高めるため、担当教員の設定したテーマに基づいて少人数制で行われる演習形式の授業です。英語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4スキルを反復学習することで、実践的な英語を身に付けます。英語以外の言語科目もあります。パソコンの基本操作やアプリケーションソフトに習熟するとともに、課題解決にICT(情報通信技術)を活用できる能力の育成を目指します。	
	教養科目群 4テーマの科目と「総合ゼミナール」で幅広い教養と総合的な思考力、課題解決能力を養う	都市・社会・環境 文化・芸術・歴史 生命・人間・健康 科学・技術・産業	幅広く用意された理系科目の中から各学部の学科、コースに応じて専門的知識や技術を学びます。	
	基盤科目群 専門分野の入門科目的役割を担う4つの領域で各分野の基礎的・導入的知識や能力を修得する	総合ゼミナール 人文科学領域 社会科学領域 自然科学領域 健康科学領域	身体や身体運動の幅広い知識と技術を学び、学問的な思考態度や知的・身体的な教養と心身に健康で豊かな人間性を育てます。経済・社会・雇用・起業等の基本的なしくみを学び、自らのキャリアを形成する上で必要とされる知識として理解します。実際の職場を「現場体験」することで問題意識を持ち、課題に主体的に取り組む能力などを自ら養成することを目指しています。	
	専門教育科目群 専門分野だけでなく副専攻により、学びの幅をさらに広げる	専門教育科目 インターンシップ(専門教育科目)		大学院 より高度な研究へ

教職課程認定を受けていない学部・学科に所属する学生は、本学で教育実習、介護等体験を行うことができないため、本学の教職課程の履修のみで教員免許状を取得することはできません。教職課程を有する学部・学科は、ウェブサイトをご確認ください。

学部・学科紹介

都立大の学び

新たな時代の要請に応える
広範な学問領域で、
「本物の考える力」と
「未来に挑戦する力」を身に付けます。



Hot Topics
教育の特長
人文社会学部
法学部
経済経営学部
理学部
都市環境学部
システムデザイン学部
健康福祉学部
Interview
大学院
先端研究プロジェクト
様々な制度・学生生活

学部・学科・コースの構成

人文社会学部

- 人間社会学科
- 人文学科

南大沢キャンパス

法学部

- 法学科
- 法律学コース
- 政治学コース

南大沢キャンパス

経済経営学部

- 経済経営学科
- 経済学コース
- 経営学コース

南大沢キャンパス

理学部

- 数理科学科
- 物理学科
- 化学科
- 生命科学科

南大沢キャンパス

都市環境学部

- 地理環境学科
- 都市基盤環境学科
- 建築学科
- 環境応用化学科
- 観光科学科
- 都市政策科学科

南大沢キャンパス

システムデザイン学部

- 情報科学科
- 電気電子工学科
- 機械システム工学科
- 知能機械コース
- 生体機械コース
- 航空宇宙システム工学科
- インダストリアルアート学科

1・2年次:主に南大沢キャンパス 3・4年次:主に日野キャンパス

健康福祉学部

- 看護学科
- 理学療法学科
- 作業療法学科
- 放射線学科

1年次:南大沢キャンパス 2~4年次:荒川キャンパス

3つの特色

1 1年次は基礎教養科目、専攻の選択は2年次に

1年次には全員が基礎教養科目を履修します。広く基礎知識を学んだ後、各自が専攻する分野を決め、配属は2年次からになります。その後、専門分野の知識を修得し、卒業論文作成に向けて進みます。

2 専門科目は少人数制の授業

専門分野に進むと、専門科目の授業は少人数制になります。興味のある授業を履修し、知識を深め、教員の丁寧な指導を受けることができます。少人数だから、ゼミなどで議論を深めることができます。

3 多様な視点や考え方を学ぶ

専門分野に進んだからといって、その分野の授業しか履修できないというわけではありません。むしろ広い視野で学ぶことが望ましいとしており、他の分野の授業やゼミにも参加することができます。

1 一人ひとりの能力を引き出す徹底した少人数教育

10~20人参加の専門ゼミは約40科目を開講し、教員と学生との直接的な対話が成り立つ教育を実践。学界の最先端をいく知見を活かした教育により、高度な研究能力や知識、総合的な思考力を養います。

2 関心と将来構想に応じた自由度の高い科目履修

コースの枠を超えた科目選択が可能であるため、幅広い知識と教養、柔軟な発想、多角的な視点を身に付けることができ、進路も広がります。複数のゼミ(演習)を履修することができます。広く学べます。

3 実務家との密接な連携による実務教育

法科大学院進学を目指す法曹養成プログラムも含め、本学の法科大学院の教員も授業を担当しています。公務員志望者を対象にした現役公務員による授業科目もあります。

1 2年次進級時にコースを選択

1年次に広く経済学と経営学の導入科目を学び、2年次進級時に経済学コースか経営学コースを選択します。いずれのコースでも経済学と経営学を共に学ぶことができ、自由な科目の履修が可能です。

2 少人数教育により徹底した専門教育を実現

3年次にはほとんどの学生が少人数制の演習(ゼミ)に参加。各分野の第一線の研究者である教員の下で知見を深め、4年次に卒業論文をまとめます。

3 第一線の研究者を擁し大学院と連携した実践教育

大学院では、経営学・経済学・ファイナンスの分野で高度な問題解決能力を身に付けた研究者や専門家を育成。学部および大学院の専任教員として、それぞれの分野の第一線の研究者を擁しています。

1 実績が示す研究レベルの高さ

学術論文の質の高さを示す指標となる「クラリベイト・アナリティクス論文引用度指数ランキング」において、理学を中心とする分野で、国内大学で総合1位にランクされるなど高い実績を維持しています。

2 確かな基礎力を養成 応用につながる本物の力へ

理学の4学科は基礎力を身に付ける教育を実践。それを基に自主性と研究力を培い、応用につながる力として育みます。大学院ではその力をさらに強化し、専攻を超えた研究へとつなげていきます。

3 専門研究を刺激する海外留学支援プログラム

大学院進学を予定している4年次を対象に、海外の大学や研究機関で先端研究の現場を体験できるチャンスを与えています。期間は3週間~3カ月程度。毎年10人近くの学生の派遣を予定しています。

1 都市の魅力創造と課題解決を目指して

都市・地域に向き合うための堅実で地道な教育や研究に対する姿勢を大事にしながら、最先端の研究内容を取り入れたカリキュラムを設定しています。広い視野と柔軟な思考力を持つ学生を期待しています。

2 従来の座学形式と異なる特色ある授業形態

学生が主体となるPBL(Project Based Learning)形式の授業を導入し、実験・実習・フィールドワークを通して、学生が自ら問題を発見して解決する能力を高める教育に取り組んでいます。

3 活発な留学活動を支援するプログラム

留学活動が盛んで、ASEAN諸国との交換留学プログラム・AIMSにも積極的に参加してきました。また、留学期間に応じた多様な支援プログラムがあり、学部生でも海外の最先端の研究に触れることができます。

1 応用性・創造性豊かな柔軟性のある人材を育成

科学技術の世界では、多分野間の連携や融合が進み、最新テクノロジーを利用したシステムが生まれています。それらに柔軟に対応できる、応用性・創造性豊かな人材を育成します。

2 コミュニケーション力を醸成する教育スタイル

システム開発では、異分野の技術者や研究開発者間でのコミュニケーションが必要とされます。学科間の垣根が低い教育スタイルは、コミュニケーション力や協調性を醸成するのに適しています。

3 ネットワークを活かし国際的視点で人材を育成

本学部は、北アメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国の数多くの大学と研究交流協定を結んでいます。その交流ネットワークを利用した国際的な視点での人材育成を目指します。

1 チーム医療に貢献できる医療人の育成

高度な知識と技術を持つ専門職の連携と協働(IPC)が保健医療に求められています。IPCを基盤とするチーム医療・ケアに資する人材を育てるため、学科を超えた職種間連携教育を進めています。

2 国際的視点を有する医療人の育成

将来、国際的な活躍を志す学生の育成に力を入れています。経済支援を伴う留学プログラムも複数用意されており、文化や言語の違いを体感しながら、新しい発見が得られる機会が広がっています。

3 高いレベルの研究者・教育者の育成

最新知識・技術を教授する講義、高度な機材を用いた実習などを通じて、先進的な教育を実践。学部は大学院人間健康科学研究科と連結しており、研究者・教育者としての成長も支援します。



人文社会学部

南大沢キャンパス

知と格闘して、知識から知恵を紡ぎ出す

人文社会学部は、人類が築いてきた知的財産を相続し、現代の問題解決の糧として役立てつつ新たな知見を加え、未来に継承する格闘と躍動の場です。無限にある問いの中、知識と情報の根拠を吟味し、師友と協働して知の領野を切り拓くことで、より良く生きる知恵と方途を探っていきます。

人文社会学部 >

人間社会学科

- 社会学教室・社会人類学教室
- 社会福祉学教室・心理学教室
- 教育学教室・言語科学教室
- 日本語教育学教室

●コンセプト

人間と社会を社会科学的に研究します。人間が育む多様な価値観に対する寛容な態度、現場主義に徹底した姿勢、確かな情報収集能力と批判的思考力を身に付けます。現代社会が抱える諸問題の解決に向けて、実践的かつ理論的に取り組める課題解決能力を社会調査、実習などの多様な方法で修得できます。

●カリキュラム

1年次に修得した教養を基礎に、2年次進級時からは専門分野に所属。自らの問題関心に基づいて専門分野の科目を受講し、それぞれの分野において求められる固有の知的技術を修得していきます。4年次には、少人数での細やかな指導を受けながら、自分でテーマを立てて卒業研究論文に取り組みます。

○進路情報

- 就職・進学状況(2025年3月卒業生実績) 就職先実績:東京都庁/全日本空輸/横浜市役所/三菱UFJ銀行/日産自動車 等 進学先実績:東京立大学大学院/一橋大学大学院/武蔵野大学大学院
- 取得可能な資格・免許 社会調査士/高等学校教諭一種(公民)/児童厚生指導員受験資格 等



在学生のReal Voice

続きはwebへ

「当たり前」を問い直し、日本語教育へのまなざし

多様なルーツを持つ仲間と意見を交わすことで、様々な気づきが得られます。「当たり前」を問い直し、他者の視点を理解する姿勢を大切にしていきたいと考えています。



人間社会学科 日本語教育学教室 4年(2025年度取材時) 鎌田 彩花さん

人文社会学部 >

人文学科

- 哲学(哲学・西洋古典学)教室
- 歴史学・考古学教室・表象文化論教室
- 日本文化論教室・中国文化論教室
- 英語圏文化論教室・ドイツ語圏文化論教室
- フランス語圏文化論教室

●コンセプト

古代ギリシャ・ローマ時代の文学を研究する西洋古典学、人間の足跡を研究する考古学と歴史学、文化・芸術・文学などを学ぶ5つの言語圏文化論、表象文化論という新しい学問領域など多様で多彩な分野をそらえています。各教室の専門を究めながら、教室をまたぐ横断的な学びも取り入れています。

●カリキュラム

1年次は全員が基礎教養科目を学び、2年次に各分野を専攻。その後も横断的な受講が可能で、フランス語圏文化論教室で学びながら歴史学・考古学教室で西洋史を履修したりすることは、比較研究に臨むベースを築くことになるので奨励しています。フィールドワーク実習の授業も開講。

○進路情報

- 就職・進学状況(2025年3月卒業生実績) 就職先実績:東京都立大学法人/日本通運/教員(東京都)/丸三証券/山梨県庁/藤沢市役所 等 進学先実績:東京立大学大学院 等
- 取得可能な資格・免許 中学校教諭一種(社会)/高等学校教諭一種(中国語)(英語)/学芸員 等



在学生のReal Voice

続きはwebへ

「日常に根ざした哲学と向き合う日々」

哲学は不思議さを整理し、議論が展開できるところが面白いです。文献を読むために英語を勉強することが、語学の勉強としても役に立っています。



人文学科 哲学(哲学・西洋古典学)教室 4年(2024年度取材時) 鈴木 理子さん



法学部

南大沢キャンパス

専門分野をリードする教員が指導

法学部は、長年に及ぶ研究教育活動の成果を踏まえつつ、次世代に求められる法学および政治学に関する専門教育を行います。専門分野の基礎知識や体系的な諸理論を学ぶ講義科目と、学生の主体性が発揮される専門演習を、各専門分野をリードする教員が指導します。

法学部 >

法学科

法律学コース

● コンセプト

既存の法体系やその背景にある歴史・理論についての知識や理解を深めつつ、これらを基盤として新たに立法・政策提案を行う技術を身に付けます。いかなる分野に進むにせよ、本コースで身に付けた知識や思考方法は社会秩序の根本部分を理解し、社会を改善していく上で大いに役立つに違いありません。

● カリキュラム

法科大学院進学(法曹養成プログラム)や国家公務員試験にも対応できる充実した法律科目が開講されているだけでなく、政治学コースの科目も履修できます。1年次では憲法・民法・刑法を学び、2年次以降はより幅広く学びます。3年次からゼミを開講し、専門分野の教員が少人数制による指導を展開します。

○ 進路情報

●就職・進学状況(2025年3月卒業生実績)
就職先実績:東京都庁/裁判所事務官/厚生労働省/特許庁/三井住友信託銀行/三菱UFJ信託銀行/トランス・コスモス/目黒区役所/横浜銀行/第一生命保険/信金中央金庫/東日本電信電話/日本電子計算/足利銀行/日本貨物鉄道 等
進学先実績:東京大学法科大学院/東京大学大学院/九州大学法科大学院 等

在学生のReal Voice

“判例を学び、裁判を支える裏方を目指して”

法学への関心から都立大へ進学しました。訴訟の判例を討論する演習で思考力を磨き、円滑かつ適正な法の運用に貢献できる裁判所書記官を目指しています。

続きはwebへ



法学科 法律学コース 3年 (2025年度取材時) 西川 純菜さん



法学部 >

法学科

政治学コース

● コンセプト

政治を理解するために必要な基礎的な概念を提供する「政治学」、国や地方自治体を考察の対象とする「行政学」、日本政治の軌跡を辿る「日本政治外交史」のほか、政治と行政を幅広い視点から学修し、常に問題意識をもって社会の動きを捉え、様々な課題に柔軟に対応できる能力を養います。

● カリキュラム

マスコミへの就職や公共政策大学院進学、国家公務員試験・地方公務員上級職試験に対応できるように、政治学・法学の科目を体系的に履修できます。科目選択の自由度が高く、コースの枠を超えて学ぶことができます。公務員の現場の声を聞けるプログラムも用意。

○ 進路情報

●就職・進学状況(2025年3月卒業生実績)
就職先実績:東京都庁/裁判所事務官/IHI/大和証券/NTTデータ/損害保険ジャパン/商工組合中央金庫/商工中金情報システム/山梨中央銀行/北陸銀行/北海道銀行/かんぽ生命保険/ソニー生命保険/住友生命保険相互会社 等
進学先実績:明治大学大学院/神戸大学大学院

在学生のReal Voice

“都立大で培った思考力と視野を社会で活かしたい”

法学科では知識だけでなく、自ら思考することが求められます。学修を通じて、政策立案などの自分でなければできない仕事をしたいと考えるようになりました。

続きはwebへ



法学科 政治学コース 3年 (2024年度取材時) 本原 惟之さん



経済経営学部

南大沢キャンパス

社会・ビジネスの発展の源泉を捉える

経済経営学部では、「ヒト・モノ・カネ」にまつわる人間の行動や社会・ビジネスの発展の源泉を考え、自由な発想と論理的な思考力を養成します。さらに、本学部が独自に設置する国際金融人材育成特別プログラムでは、金融の専門知識とビジネスレベルの英語力を持った高度金融人材を育成します。

経済経営学部 >

経済経営学科

経済学コース

● コンセプト

ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、さらに世界と日本の経済に関する幅広い知識とそのしくみについて理解する力を養います。社会・経済の問題を解決する能力を培うことで、政策を立案し、国・自治体、民間企業に適切な指針を与えるリーダー、あるいは研究者として活躍する人材を養成します。

● カリキュラム

1・2年次には基礎的な専門教育科目を配置し、問題意識や興味、目標に即して設定した研究テーマの専門性を高めます。3・4年次に参加できる演習(ゼミナール)では教員一人に対して学生6人程度の少人数制を徹底。きめ細かい指導で理解を深め、4年次に卒業論文としてまとめます。

○ 進路情報

●就職・進学状況(2025年3月卒業生実績)
就職先実績:大和証券/SBI新生銀行/第一生命保険/三菱自動車工業/東日本旅客鉄道/エン・ジャパン/オリエントコーポレーション/NTTデータ中国/アイ・エス・ピー/SCSK Minoriソリューションズ/東京都庁/目黒区役所/横浜市役所 等
進学先実績:東京大学大学院/一橋大学大学院/東京大学大学院

在学生のReal Voice

“深く考え、人生を豊かにしてくれる学び”

労働経済学の授業を通じて「将来、自分はどういう職業人生を送りたいか」を深く考えるように。人生を豊かにしてくれる学びを得ることができました。

続きはwebへ



経済経営学科 経済学コース 4年 (2023年度取材時) 吉田 孟敏さん



経済経営学部 >

経済経営学科

経営学コース

● コンセプト

経営学は、現代の産業社会の基礎的な構成要素である企業を対象として、企業組織や産業社会の構造やその行動のメカニズムを明らかにする学問です。経営学コースでは、企業やビジネスがどのように成り立ち、いかにして行動するかを理解し、分析する能力を身に付けることを目標としています。

● カリキュラム

1・2年次には基礎科目を履修した上で基礎的な専門教育科目を配置し、研究テーマの専門性を高めます。経営戦略、組織・管理、財務会計などに関する講義を提供します。3・4年次に参加できる演習(ゼミナール)では少人数制によるきめ細かい指導で理解を深め、4年次に卒業論文としてまとめます。

○ 進路情報

●就職・進学状況(2025年3月卒業生実績)
就職先実績:みずほフィナンシャルグループ/明治安田生命保険相互会社/三井住友海上火災保険/損害保険ジャパン/SMB信託銀行/三井住友信託銀行/有限責任監査法人トーマツ/アクセントチャ/伊藤忠商事/NTTドコモ/東日本電信電話/サイバーエージェント 等
進学先実績:一橋大学大学院

在学生のReal Voice

“実践的な経済と経営を学び、都立大から社会へ”

経済学と経営学の両方を学べる点に魅力を感じ、進学を決めました。専門家から直接学べる授業では、NISAやESGといった現代的なテーマにも触れることができました。

続きはwebへ



経済経営学科 経営学コース 3年 (2025年度取材時) 山下 祥大さん





理学部

南大沢キャンパス

失敗を恐れることなく自然界の謎に挑戦

理学部は、基礎力の養成、実験や実習による技術の修得や論理的な考え方の訓練、自主性を伸ばす取り組み、大学院へもつながるカリキュラム、国際的な環境での研究体験の機会など、皆さんの真の学力を伸ばすため全力で応援します。ぜひ、自然が用意した奥深い謎に正面からぶつかってください。

理学部 >

数理科学科

● コンセプト

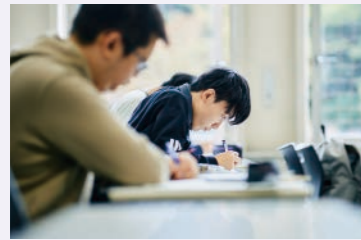
白黒がはっきりするデジタル的な明晰さと、アナログ的な美しさが共存する数理科学の楽しさを体感しつつ、代数・幾何・解析・応用数理の4分野を体系的に学べるのが数理科学科です。学科独自の図書室は全国有数の蔵書数を誇り、教員に気軽に質問できるオフィスアワーなどの体制も充実しています。

● カリキュラム

基盤となる代数・幾何・解析・応用数理の4分野について、大学院での研究につながる高いレベルの教育を行っています。1・2年次の講義には演習・実習が開講、2・3年次からは少人数セミナー「数理科学総論」を用意。培った基礎学力を土台に、4年次のセミナーではより専門的な内容を学修します。

○ 進路情報

- 就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 教員(東京都、八王子市等)/東京都庁/富士通/日本総合研究所/日立システムズ/AIホールディングス等
進学先実績: 東京都立大学大学院/東京科学大学大学院/中央大学大学院等
- 取得可能な資格・免許
高等学校教諭一種(数学)等



在学生のReal Voice

“大学の学びを通し、数学の奥深さや美しさを知る”

授業では、数学の奥深さや美しさを実感できます。確率論や量子力学など、様々な分野に応用されるため、社会の多様な場面で役立つはず。

続きはwebへ



数理科学科 4年 (2025年度取材時) 小川 祥来さん

理学部 >

物理学科

● コンセプト

一見、複雑に見える物質や現象にも、共通する普遍的な性質や基本法則を見出し、論理を構成して理解するのが物理学です。自然界に存在する重力、電磁気力、強い力、弱い力の性質に基づき、身近な現象から、素粒子と宇宙という極限的に大きさの異なる世界まで総合的に描き出すのが物理学の魅力です。

● カリキュラム

電磁気学や物理数学を学んだ後に、統計力学や量子力学を取り扱います。全学年に実験や演習を配置し、最先端の研究に触れる機会として1年次に「物理セミナー」、3年次に研究室紹介も兼ねた「現代物理学序論」を用意。4年次には研究室に配属され、最先端の研究に触れながら卒業研究を行います。

○ 進路情報

- 就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 東京都庁/教員/市役所/東日本高速道路/日立チャネルソリューションズ/本田技研工業等
進学先実績: 東京都立大学大学院/東京科学大学大学院/東京科学大学大学院等
- 取得可能な資格・免許
高等学校教諭一種(理科)等



在学生のReal Voice

“宇宙からナノまで、物理の奥深さを実感する日々”

物理学が世界の本質に迫る学問であると感じ、都立大に進学。現代物理学の多様な分野を幅広く学び、将来は、社会に貢献できる研究に取り組みたいです。

続きはwebへ



物理学科 4年 (2025年度取材時) 小淵 友貴さん

理学部 >

化学科

● コンセプト

化学は元素や分子のレベルで自然を理解し、物質の性質や変化、循環などを探求する自然科学の基礎的な分野です。研究対象は有機・無機物質にとどまらず、理論物理、固体物理、宇宙科学、分子生物学まで広がっています。約30名の専任教員が多様な研究を行い、少人数教育により専門家の育成を目指しています。

● カリキュラム

1~3年次は無機・分析化学、有機・生物化学、物理化学の3分野を学び、化学に関する土台をつくります。充実した講義・演習科目が用意され、1年次の後期と3年次の前後期に実験が必修となっていて、集中的に化学の方法論を学びます。4年次には研究室に所属し卒業研究(化学特別研究)を行います。

○ 進路情報

- 就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: ニチアス/NXワンピシアークイブズ/アクティクス/ビジョン・コンサルティング/マズ商事/DJK/臨海等
進学先実績: 東京都立大学大学院/東京科学大学大学院/東京大学大学院等
- 取得可能な資格・免許
毒物劇物取扱責任者等



在学生のReal Voice

“都立大での学びを「持続可能な社会」に活かす”

化学科は幅広い化学研究を行っている、学びながら夢が見つけれられるのが魅力です。研究で得た知識を活かし、「持続可能な社会」に貢献したいです。

続きはwebへ



化学科 4年 (2024年度取材時) 安島 佑希さん

理学部 >

生命科学科

● コンセプト

生命科学科の目標は、基礎生物学・生命科学の様々な分野を学び、「研究する力」を身に付けることです。「研究する力」は、いろいろな分野の専門職でも必要な力です。生物学・生命科学の分野を幅広く学習することによってその力を養い、応用も含めた多様な分野で活躍できる人材を育成します。

● カリキュラム

プログラムの約半分を実験や実習に充てた体験重視のカリキュラム。自ら選んだテーマの研究に1年次から取り組む「生物学自主研究」も特徴的です。また、優れた研究を行うためには、国際性やコンピューターを駆使する能力も必要。英語やバイオインフォマティクスの教育などにも力を入れています。

○ 進路情報

- 就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 警視庁/陸上自衛隊/武蔵野市役所/文京区役所/国立研究開発法人科学技術振興機構等
進学先実績: 東京都立大学大学院/東京科学大学大学院/北海道大学大学院等
- 取得可能な資格・免許
高等学校教諭一種(理科)等



在学生のReal Voice

“幅広い講義の中で、新たな視点に出会える”

進路に迷っていた高校時代、生き物を広く学べる生命科学科に惹かれました。また、専攻外の教養科目が充実していることも自分に合っていると感じます。

続きはwebへ



生命科学科 4年 (2024年度取材時) 屋間 勇星さん

※進路情報：大学院博士前期課程の情報も掲載しています。



都市環境学部

南大沢キャンパス

活力ある都市を実現できる人材を育成

都市環境学部では、進展する都市機能と環境問題の関連性、多様な人々との共存、行政財運営のあり方など様々な課題を研究します。実験・実習・フィールドワークや課題解決・提案型演習の重視と多彩なインターンシップなどを通して実践的かつ多角的な判断能力や構想・提案力を養います。

都市環境学部 > 地理環境学科

● コンセプト

地球の環境を多岐にわたって調査・分析・研究し、人間との関係や課題について考察。フィールドワークを重視しています。自らの五感を使って学ぶワクワク感あふれる学科には、5つの研究室を設置。地理情報システムも活用するなど、様々なタイプの地理学を基礎から学べる日本で唯一の学科といえます。

● カリキュラム

1年次は入門講義に加え、様々な研究分野を紹介する「地理環境科学序説」を開講。2年次では地理学の3大分野に関する基礎講義と、調査・観測・分析技術を履修。3年次からは現地調査・長期野外巡検に重点を置き、研究動向を討論するセミナーを実施。4年次には研究室で卒業論文に取り組みます。

○ 進路情報

- 就職・進学状況(2020~2024年度実績)
就職先実績: 気象庁/国土交通省/財務省/鉄道建設・運輸施設整備支援機構/国土地理院/日本気象協会/JA全農/東京都庁/静岡県庁/国立市役所/横浜市役所 等
進学先実績: 東京都立大学大学院 等
- 取得可能な資格・免許
技術士補/高等学校教諭一種(地歴・理科) 等

在学生のReal Voice

“調べて、測って、歩いて深める地理学の楽しさ”

地形や気候、都市や交通など様々な地理的アプローチから幅広く学び、実習や仲間と協力して取り組む活動を通して社会や環境に役立つ力を身に付けています。

続きはwebへ



地理環境学科 3年(2025年度取材時) 橋本 健吾さん



都市環境学部 > 都市基盤環境学科

● コンセプト

「社会基盤分野」「環境システム分野」「安全防災分野」の3コースで、総合的な視野と素養を備えた人材育成を目指します。また、国際共同研究や東京都との連携大学院協定、都庁インターンシップなどを通じて、「都市の基盤整備と維持管理」「環境の保全と創造」「自然災害の軽減」を学びます。

● カリキュラム

段階的に専門性を深められるカリキュラムで、1~2年次に広範な技術分野の基礎学問を全員が履修し、2~3年次には様々な専門科目や測量学実習・情報処理・製図・実験などの実技科目に取り組みます。4年次には、各研究室に分かれてマンツーマン指導により特別研究(卒業論文)を行います。

○ 進路情報

- 就職・進学状況(2020~2024年度実績)
就職先実績: 東京都/国土交通省関東地方整備局/横浜市/大成建設/大林組/日揮ホールディングス/JR東日本コンサルタンツ/いであ/パンフィックコンサルタンツ 等
進学先実績: 東京都立大学大学院 等
- 取得可能な資格・免許
測量士補/一級・二級土木施工管理技士受験資格

在学生のReal Voice

“専門的な学びを通して、自然災害への関心が高まる”

実験やグループワークを通して実践的に土木工学の理解を深めています。研究活動を通じて、水害から暮らしを守る力を身に付けていきたいと考えています。

続きはwebへ



都市基盤環境学科 4年(2025年度取材時) 竹腰 空柘さん



都市環境学部 > 建築学科

● コンセプト

一般の建築学だけでなく、都市に関する理論や技術も多面的に学びます。特に東京が抱える課題として、既存の建築資産を活用した都市づくりに積極的に取り組み、建築ストックを活かすための技術開発は国際的にも高い評価を得ています。これは学科のテーマで、最新の成果は授業や研究に活かされます。

● カリキュラム

充実した学内施設を使っでの実験や、最新の建築見学や伝統的な木造住宅市街地の街歩きなど特色あるカリキュラムを用意。1年次で建築図面の表現方法を体得し、2年次以降は美術館・学校・住宅などの主要施設の設計を行い、建築と都市の関係までをデザイン。4年次では特別研究に取り組みます。

○ 進路情報

- 就職・進学状況(2020~2024年度実績)
就職先実績: 法務省/東京都庁/横浜市役所/千葉市役所/広島市役所/相模原市役所/山梨県庁/独立行政法人住宅金融支援機構/神奈川県内広域水道企業団 等
進学先実績: 東京都立大学大学院 等
- 取得可能な資格・免許
一級建築士受験資格 等

在学生のReal Voice

“構造から都市まで、広く深い都市環境を学ぶ”

幅広く建築を学ぶため、都立大の建築学科に進学しました。海外研修では国内との違いを体感し、将来は日本と海外の建築技術をつなぐ仕事がしたいです。

続きはwebへ



建築学科 4年(2025年度取材時) 安部 海翔さん



都市環境学部 > 環境応用化学科

● コンセプト

多様な化学分野をベースに、実用につながる工学としての「応用化学」に関する教育と研究を行っています。特に、SDGsに関連する教育と研究を通じて、環境、エネルギー、バイオなどの幅広い分野において、化学技術を駆使して持続可能な社会に貢献する分子や材料を創造することができる知識や能力を持った研究者、化学者を育成します。

● カリキュラム

最大の特徴は、①充実した基礎・専門教育②アクティブラーニングを導入した問題発見・解決型教育③世界を目指したグローバル教育です。特に材料物理化学系、無機材料化学・ナノテク系、有機材料化学系、エネルギー化学系、高分子・生命化学系、環境分析化学系、化学工学系の7分野はコア科目となります。

○ 進路情報

- 就職・進学状況(2020~2024年度実績)
就職先実績: ダイキン工業/ENEOS/日立グローバルライフソリューションズ/シャープ/東ソー/大塚製薬/NTTコムウェア/JVCケンウッド/ゼネラル/大和総研 等
進学先実績: 東京都立大学大学院 等
- 取得可能な資格・免許
毒物劇物取扱責任者 等

在学生のReal Voice

“広く深い研究で得た化学的視点で環境問題に挑む”

環境応用化学科では化学や環境問題の専門知識を身に付けることができます。留学生との交流や英語での発表によって語学力・国際的視野も身に付きました。

続きはwebへ



環境応用化学科 4年(2024年度取材時) 小島 隆輔さん



※進路情報: 大学院博士前期課程の情報も掲載しています。



都市環境学部 >

観光科学科

●コンセプト

工学や理学といった理系分野をベースに、「観光を科学する」ことを目標としています。観光の基盤となる地域の環境や文化の保全、資源の適正利用を進め、観光を活用して地域の魅力や価値の向上、地域経済の向上といった地域づくりを進め、総合力と専門性を身に付ける教育・研究を目指しています。

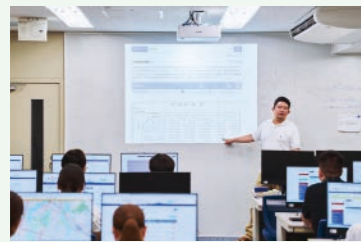
●カリキュラム

具体的な現象や問題を理論的に解明し、計画を立案・実行するのに必要な「技術」を学びます。PBL (Project Based Learning) という、実際の地域を対象にそのステークホルダーと連携した教育・研究方法により、「観光地の診断から計画、実践まで」の実践的プロセスを学びます。

○進路情報

●就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 東日本旅客鉄道/都市再生機構/JTB/星野リゾート・マネジメント/東京都庁/総務省/建設技術研究所/PwC Japan/みずほフィナンシャルグループ 等
進学先実績: 東京都立大学大学院 等

●取得可能な資格・免許
学芸員/地域調査士 等



在学生のReal Voice

観光産業の課題を、理系の視点から解決したい

都立大では理系視点で観光を学ぶことができ、南大沢の環境を活かしたフィールドワークも魅力です。将来はITで観光産業の発展に貢献したいです。

続きはwebへ



観光科学科 4年 (2024年度取材時) 山本 淑乃さん

都市環境学部 >

都市政策科学科

●コンセプト

都市政策科学科では、都市問題を理論的・実践的に解決する教育・研究を少人数教育で実現。従来の都市政策コース、都市システム科学域の二つの組織の良い面を引き継ぎながら、様々な授業、現場体験型授業、少人数のワークショップ、卒業研究などを通じて「都市に関する政策科学」を提供・実践します。

●カリキュラム

東京都の課題を考えるカリキュラムを編成し、学生の政策立案能力を養います。①課題対応型、分野別配置による重点学習、②基礎力とキャリア教育によるリテラシー向上、③他学部・他学科専門教育科目の履修による幅広い知見の獲得、④創造的な思考のための実践的教育・ワークショップ開催を行います。

○進路情報

●就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 国土交通省/関東財務局(財務省)/東京都庁/神奈川県/茨城県庁/埼玉県庁/東京都特別区/横浜市役所/川崎市役所/日本政策金融公庫/東京都住宅供給公社/都市再生機構 (UR)/東日本旅客鉄道/東海旅客鉄道/京王電鉄 等
進学先実績: 東京都立大学大学院/東京大学大学院 等



在学生のReal Voice

実践的な学修と留学経験で世界の都市開発に挑戦

学生主体で実践的な都市開発を学ぶのは難しい場合が多いですが、都立大の都市政策科学科では大学構内を利用してリアルな空間づくりに挑戦できます。

続きはwebへ



都市政策科学科 4年 (2024年度取材時) 木内 源太さん

Pick up

主専攻以外の専門分野を学ぶことができる

副専攻コース

主専攻との相互補完で視野が広がる、もうひとつの専門コース

学際的視野を身に付けることを目的としたもうひとつの専門コースです。主専攻(各学部・各学科)とは異なる特定分野の専門科目を履修することが可能です。(ただし、副専攻コースの種類により一部の学部・学科の学生が対象とならない場合があります。)卒業時には、副専攻コース修了証書が授与されます。



数理・データサイエンス副専攻コース

データサイエンスの知識による専門領域の価値創造

数理・データサイエンス副専攻コースでは、データサイエンスの基盤となる数理を学ぶ基礎科目から、テキスト分析、画像・音声処理や機械学習*等の応用科目を経て、現実のデータを用いてデータサイエンスの手法により、課題解決を目指す実践科目(PBL)までを体系的に学修できる教育プログラムです。データサイエンスは、数理・統計を基礎として、データを基に科学的な課題解決を行うために横断的なアプローチを行う新しい学問です。これらを学修すれば、様々な場面においてデータを「正確に理解」し、「物事を科学的に判断」する力を身に付け、ビジネスの場でも「説得力のある説明」ができるようになるでしょう。

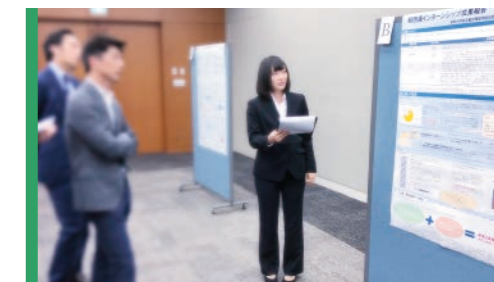
*大量のデータを基に、その背後のルールやパターンを「機械(コンピューター)」が統計的に「学習」する技術。



人間健康科学副専攻コース

行動や適応、栄養・食品の観点から人間の健康を総合的に学ぶ

人間健康科学副専攻コースは、健康福祉学部が提供し、全学部生を対象に、人間健康科学研究科ヘルスプロモーションサイエンス学域の教員が授業を担当します。「人間の行動」「環境への適応」「栄養・食と健康」の側面から、長寿化が進む大都市における人間の行動・適応・栄養・健康の諸問題に関する教育を学際的かつ実践的に展開、総合的視野と専門的洞察力や知識、そして健康の増進に関する指導能力を兼ね備えた、活力ある人材の育成を目的としています。将来、健康関連分野、人間工学、社会福祉、リハビリテーションなど人間に関わる諸分野で活躍しようとする学生、本学大学院人間健康科学研究科や他大学の人間科学・健康科学分野の大学院への進学を希望する学生には、本コースの履修を推奨しています。



観光マネジメント副専攻コース

地域づくりの現場や観光産業で活躍できる知識を身に付ける

観光マネジメント副専攻コースは、観光とその経営に関する教育プログラムを提供し、都市・自然・社会と調和した観光を支え、観光関連企業、観光行政、地域において、企画立案やマネジメントに第一線で携わるリーダーとなり得る、国際的視野と先進的なマネジメント能力を兼ね備えた先導的人材の育成を目指しています。全ての学部生を対象としており、とりわけ、将来、観光産業や観光行政の幹部、観光関連分野での地域リーダーとして活躍しようとする学生、マネジメント能力に磨きをかけた様々な分野のリーダーとして活躍しようとする学生、また、本学大学院を含む観光分野の大学院に進学を希望する学生などは、今後のキャリア形成や人的ネットワークの構築に大いに役立つでしょう。



国際副専攻コース

詳しい情報はP36へ

世界で活躍できるコミュニケーション力と実行力を養う

国際副専攻コースは、グローバル人材育成入試を経て入学した学部生と学部入学後の学内選考合格者を対象としています。留学に必要な語学力を養成する少人数教育や国際副専攻アドバイザーによる充実した留学サポート、必修である海外留学を通して、高度な語学力やコミュニケーション能力、多様な文化に適応する力を身に付けることができる教育プログラムを提供します。将来、主専攻で身に付けた専門知識やスキルを武器に、国際的な視野を持ち、国際社会の第一線でリーダーシップを発揮して活躍できる人材の育成を目指しています。



システムデザイン学部

1・2年次:主に **南大沢キャンパス** 3・4年次:主に **日野キャンパス**

ぬくもりのある未来のシステムを創成

本学部は、システム技術を機能と感性という二つの側面から総合的に教育研究する最先端の学部です。2018年からは、情報系分野や機械系の生命分野を強化し、5学科からなる新しいシステムデザイン学部がスタート。確かな基礎に裏付けされた応用力と、創造性を持つ技術者・研究者を育みます。

情報科学科



● コンセプト

情報技術は歴史上4回目の「産業革命」と呼ばれるほどの変化を引き起こしています。ただ、新技術が日進月歩で登場する一方で、社会的なリスク要因も多様化する傾向にあります。本学科ではそんな変化に柔軟に適応し、高度な情報技術に熟達した、国際的に活躍できるエンジニアの育成を目指しています。

○ 進路情報

- **就職・進学状況(2020~2024年度実績)**
就職先実績:NTTデータ/東芝デジタルソリューションズ/日立製作所/ヤフー/日本電気/三菱電機/日本アイ・ピー・エム 等
進学先実績:東京都立大学大学院/一橋大学大学院/東京科学大学大学院 等
- **取得可能な資格・免許**
高等学校教諭一種(情報)

在学生のReal Voice

“ソフトウェアの可能性を信じて、AIの未来を切り拓く”

関心のある分野を自ら探求できる環境が整っており、自由度の高い学びが得られます。将来はAIの領域において、可能性を切り拓いていく存在になりたいです。

続きはwebへ



情報科学科 4年 (2025年度取材時) 堤 歩斗さん

電気電子工学科



● コンセプト

社会基盤に必要なエネルギーの変換・制御技術、信号の伝送・解析技術、環境・健康・安全を保つための計測技術、新しい機能を生み出すための材料・デバイス・プロセス技術などを、電磁気学・電気回路学を基本としてシステム的な思考と実践によって探求し、電気電子工学・技術で社会貢献できる人材を育みます。

○ 進路情報

- **就職・進学状況(2020~2024年度実績)**
就職先実績:東日本旅客鉄道/ソフトバンク/キーエンス/富士電機/日本電気/読売新聞社/セイコーエプソン/NTTデータ 等
進学先実績:東京都立大学大学院/東京科学大学大学院 等
- **取得可能な資格・免許**
第一級陸上特殊無線技士 等

在学生のReal Voice

“幅広い学びを糧に、電気電子で社会貢献したい”

電気電子工学を幅広く学べる環境が整っており、興味のある分野を深く探究できます。電気電子工学の医療応用に驚き、学ぶ意欲がより一層高まりました。

続きはwebへ



電気電子工学科 1年 (2025年度取材時) 沓澤 幸之介さん

※進路情報:大学院博士前期課程の情報も掲載しています。

システムデザイン学部

機械システム工学科

知能機械コース/
生体機械コース



● コンセプト

持続可能な社会を構築するための機械システムの開発には、システム工学から制御工学、ロボット工学、設計工学、生体工学、マイクロ・ナノテクノロジーに至る広範な知識と教養が必要です。本学科では、それら多様な学問領域の基礎を学び、横断的な視点から活用できる創造性豊かな人材を育成します。

○ 進路情報

- **就職・進学状況(2020~2024年度実績)**
就職先実績:JIR東海/日産自動車/ヤマハ発動機/本田技研工業/東芝/住友重機械工業/三和シャッター工業/東京都庁/岩手県庁/アマノ/NSD/GEヘルスケア・ジャパン/マルマテクニカ 等
進学先実績:東京都立大学大学院/東京科学大学大学院/東北大学大学院 等

● カリキュラム

2年次後期よりコースに分かれて各専門分野について学びます。知能機械コースでは「機械制御・知能化システム」「サービス情報・ロボット工学」を、生体機械コースでは「医用工学・生体工学」「人間工学・福祉工学」を学び、知能機械システムをつくり出すことのできる創造性を身に付けます。

在学生のReal Voice

“ロボットづくりを通して専門性を深める”

ロボット設計や制御に興味があり、都立大へ進学しました。ゼロから歩行ロボットを製作する演習で実践力を養い、将来は人と協働するロボット開発を目指しています。

続きはwebへ



機械システム工学科 知能機械コース 4年 (2025年度取材時) 長谷 来夏さん

システムデザイン学部

航空宇宙システム工学科



● コンセプト

豊富な実験装置を所有し、幅広い学問分野を俯瞰する教員陣がそれらを活用しながら、工学的な諸問題を総合的に捉え、解決する能力を学生が修得できるよう教授します。また、宇宙航空研究開発機構などと連携し、学外研究者による講義を開講。希望すればこれらの研究所で指導を受けることができます。

○ 進路情報

- **就職・進学状況(2020~2024年度実績)**
就職先実績:JAXA/日本航空/全日本空輸/三菱重工業/川崎重工業/SUBARU/三菱電機/NEC/NTTデータ/IHI/トヨタ自動車/本田技研工業/ソニー/スカパーJSAT/キャノン電子 等
進学先実績:東京都立大学大学院/東京科学大学大学院 等

在学生のReal Voice

“ロケットから衛星まで、実験で学ぶ宇宙工学”

SF映画をきっかけに宇宙に関心を持ち、最先端技術を学べる都立大に魅力を感じました。専門教育科目の授業では、航空・宇宙両分野に触れ、さらに興味が強まっていくのを実感しています。

続きはwebへ



航空宇宙システム工学科 3年 (2025年度取材時) 高瀬 知音さん

システムデザイン学部

インダストリアルアート学科



● コンセプト

プロダクト系とメディア系分野が共存する学科として、多彩なデザイン領域と工学領域を横断的に学ぶことができます。新しい価値やグローバルなネットワークを生み出すことができる総合的な能力を備えた研究者やエンジニア、現代社会が求める幅広い知見を持ったデザイナーの人材育成を目指しています。

○ 進路情報

- **就職・進学状況(2020~2024年度実績)**
就職先実績:大和総研/野村総合研究所/DNPコミュニケーションデザイン/NTTデータ/オカムラ/カシオ計算機/鹿島建設 等
進学先実績:東京都立大学大学院/東京科学大学大学院/東京芸術大学大学院 等
- **取得可能な資格・免許**
学芸員 等

在学生のReal Voice

“ものづくりの根幹を学び、社会貢献に活かしたい”

インダストリアルアート学科は私のように高校まで理系の学生でもデザインを学べます。ここで得た思考と視座を活かし、デザインで社会に貢献したいです。

続きはwebへ



インダストリアルアート学科 4年 (2024年度取材時) 堅田 睦美さん



健康福祉学部

1年次: 南大沢キャンパス 2~4年次: 荒川キャンパス

優れた臨床能力、問題解決能力を育む

今、日本の保健医療に何よりも必要なのは、患者や障がい者の方々、その家族や介護者の方が幸せになるように、相手を敬い、一緒に歩み、相手から教わるという人間としての根本です。私たちは、明日の健康・医療を積極的に担おうという意欲と情熱にあふれた皆さんを心よりお待ちしております。

健康福祉学部 > 看護学科

● コンセプト

都立病院との連携を深め、東京の地域特性に対応した実践的な教育を展開。急性期医療、福祉施設、地域、在宅のそれぞれの場での確かな判断力を基に患者の状態に応じた看護の実現を目指します。演習にも力を入れ、教員のデモンストレーションなど実践的な技術や判断力、倫理的な感受性を身に付けます。

● カリキュラム

科学的根拠に基づいた専門的な看護技術を修得。2年次には臨床現場を想定した演習を、3年次には都立病院を中心とした臨床実習を実施。4年次には、卒業研究や総合臨床看護学実習などを実施。看護倫理学や看護管理学も履修し、倫理的な判断能力、マネジメント能力の基礎を身に付けます。

○ 進路情報

- 就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 東京都立病院機構 / 国立国際医療センター / 東京大学医学部附属病院 等
進学先実績: 東京都立大学助産学専攻科 / 東京都立大学大学院 / 東京大学大学院 等
- 取得可能な資格・免許
看護師国家試験受験資格・保健師国家試験受験資格 (選抜定員制)



在学生のReal Voice

“実践で気づく、看護の本質と向き合う日々”

実習では、グループで看護ケアを実践。仲間や教員との対話を通じて気づきを深めています。知識だけでなく、患者さんの心に寄り添える看護師になりたいです。

続きはwebへ



看護学科 2年 (2025年度取材時) 佐藤 美桜さん

健康福祉学部 > 作業療法学科

● コンセプト

心や体に病気や障がいのある人々が、その人らしい生活を送れるよう支援する作業療法士。本学科では、国際基準を満たすカリキュラムと充実した設備を整え、臨床実習では医療施設のほか、高齢者施設、小児施設、就労支援施設など幅広く体験できるのも特色です。

● カリキュラム

教養・基盤科目や基礎医学などの基礎科目をベースに、臨床医学系科目と専門科目を中心に学びます。病院や施設など実際の医療現場では、作業療法初期臨床実習、作業療法プロセス臨床実習、作業療法総合臨床実習を体験し、身に付けた知識と技術、実践を融合。また、地域の健康増進に力を注いでいるのも特徴です。

○ 進路情報

- 就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 東京都立病院機構 / 千葉大学医学部附属病院 / 日本医科大学付属病院 / 永寿総合病院 等
進学先実績: 東京都立大学大学院 / 筑波大学大学院
- 取得可能な資格・免許
作業療法士国家試験受験資格



在学生のReal Voice

“憧れだった作業療法士になって社会に貢献したい”

様々な作業療法評価を2・3年次がペアになってグループワーク。自分が教える立場になることで知識の共有と定着につなげられるのが、この授業の良いところだと思います。

続きはwebへ



作業療法学科 3年 (2024年度取材時) 鈴木 美玖さん

健康福祉学部 > 理学療法学科

● コンセプト

基本的動作が不自由になった人や、身体機能に障がいを持つ人に対し、能力回復のための治療やトレーニングを行うのが理学療法士です。本学科では「医学的基礎科目」「理学療法科目」「臨床医学科目」を柱に学び、医療機関での実習を通して臨床実践能力を身に付けます。国家試験も例年、高い合格率を誇ります。

● カリキュラム

「医学的基礎科目」、「理学療法科目」および「臨床医学科目」の講義・実習を通して専門性を深め、合計20週間に及ぶ長期間の臨床実習では、各医療機関の臨床実習指導者の下、身に付けた理論や技術を確かなものにします。

○ 進路情報

- 就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 自治医科大学附属病院 / 公益財団法人がん研究会 がん研有明病院 / 医療法人社団健育会 竹川病院 / 町田市民病院 / 東海大学医学部付属病院 等
進学先実績: 東京都立大学大学院
- 取得可能な資格・免許
理学療法士国家試験受験資格



在学生のReal Voice

“身体の動きを見つめて、人を支える理学療法士へ”

専門教育科目に加えて全学共通科目や海外研修プログラムなど、多様な学びの機会があります。将来はスポーツの分野にも関わりながら理学療法士として貢献したいです。

続きはwebへ



理学療法学科 3年 (2025年度取材時) 有田 優羽さん

健康福祉学部 > 放射線学科

● コンセプト

科学的に放射線を理解できる力を養い、その知識と技術で先端医療施設や関連機関で活躍できる放射線のスペシャリストを育成します。荒川キャンパスには充実した教育・研究環境が充実。また、高度放射線専門職の育成や先端医療技術を開発できる人材の育成を進める大学院教育との連携も図っています。

● カリキュラム

1年次には基礎ゼミナールや教養科目群および専門教育科目群を学び、2年次以降は荒川キャンパスで理工学・医学の基礎知識を身に付けます。3・4年次には臨床実習に臨み、卒業研究では柔軟な発想で研究テーマに取り組みます。卒業年度には「診療放射線技師国家試験」の受験資格を取得できます。

○ 進路情報

- 就職・進学状況 (2020~2024年度実績)
就職先実績: 東京大学医学部附属病院 / 慶應義塾大学病院 / 千葉大学医学部附属病院 / 東京都立病院機構 等
進学先実績: 東京都立大学大学院
- 取得可能な資格・免許
診療放射線技師国家試験受験資格 / 第1種放射線取扱主任者



在学生のReal Voice

“実践的な授業で、技術と人間性に優れた技師に”

都立大の放射線学科では実践教育や実習を患者・技師両者の目線で学べます。この経験を活かし、優れた技術と人間性を持った診療放射線技師になりたいです。

続きはwebへ



放射線学科 3年 (2024年度取材時) 橋本 心真さん

※進路情報: 大学院博士前期課程の情報も掲載しています。

Hot Topics 教育の未来 人文社会学部 法学部 経済経営学部 理学部 都市環境学部 システムデザイン学部 健康福祉学部 Interview 大学院 先端研究プロジェクト 様々な制度・学生生活

02

Interview

多彩な学び、体験を通して
自分の可能性を広げた学生生活

幼少期から正義感が強く、中学時代は生徒会で全校生徒を代表する活動をしていました。その中で、組織をうまく導くためにどのような行動や情報発信が必要かを考えた経験から、法律に興味を持ちました。都立大に興味を持ったのは、高校1年生のときに参加したオープンキャンパス。広く自然豊かなキャンパスと、副専攻まで選べる自由度の高いカリキュラムに大きな魅力を感じました。その中で法学部を選んだのは、法律を基礎から体系立てて学ぶことができ、コミュニケーション能力を強化するカリキュラムが組まれていることが大きな理由です。

法学部では当初授業や試験のレベルの高さに苦労しましたが、教授の細やかな指導で学業に打ち込むことができました。それだけでなく、人間健康科学副専攻コースもしっかりと修了でき、部活動などの課外活動でも成果を出すことができたのは都立大の環境だからこそだと感じます。

教養科目で伊豆大島に訪問して、現地の伝統や暮らしに魅力を感じるとともに課題も見えたことが将来を考えるキッカケになりました。現在、東京都の職員として仕事に打ち込めるのも、都立大での日々があったから。私の可能性を広げてくれた4年間でした。

Profile

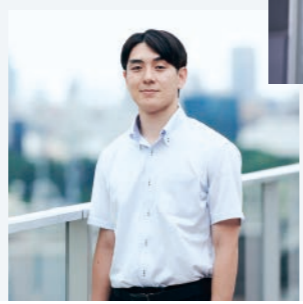
鎌田美結さん
法学部 法学科 法律学コース
2021年度卒業
東京都庁の総務局 行政部 市町村課で都内市町村の
行財政支援に関することを担当。(2024年度取材時)



Interview

都立大の先輩たち

都立大で学び、活動し、交流を広げながら、自ら進むべき自分の道を見つけた卒業生は今、様々な分野で仕事に熱中し、新たな挑戦を続けています。卒業生の「リアルな声」を、これから大学生活を始める皆さんにお届けします。



01

都立大は人生のターニングポイント。学問や
人との出会いで気付いた自分らしい働き方

高校生のころは自分のやりたいことがわからず、とにかく目の前の課題に打ち込んでいました。大学受験の際も、なかなか特定の学部や専攻に絞ることができずにいたんです。でも、都立大は2年次に入ってから自分の専門分野を決めることができます。特に人文社会学部 人間社会学科には専門科目として幅広い分野の講義が展開されているため、1年次の間にいろいろな学問に触れて自分が何をしたいのかをじっくりと考えてみる、といった学び方ができるんです。実際に入学してみると、一見バラバラな学問同士が実は意外な点でつながっていることに気づき、興味を赴くままに多くの学びと向き合いました。結果的に専門に選んだ日本語教育学では、「可能表現の過剰使用(二重可能動詞)」について深く研究。大学祭実行委員としても活動し、充実した大学生活を送ることができました。

この経験が、現在の仕事に活かしています。日本語教育はお客さまとのコミュニケーションの細やかさにつながっていますし、心理学や社会学など多彩な学問を学んできたことで、物事を多角的に捉える癖ができました。

この仕事に出会えたのも、都立大で学ぶ中で「やりたいことを探そう」と考えられるようになったから。都立大は私の人生のターニングポイントです。

Profile

小俣天乃さん
人文社会学部 人間社会学科 日本語教育学教室
2022年度卒業
大阪に本社を置く機械販売の専門商社・株式会社ジー
ネットの東京営業所に所属。(2024年度取材時)



03

学業への集中と学友からの刺激が拓いた
進路。都立大での経験を土台に金融業界へ

幼少期から活発な性格で、高校までサッカー部に所属していました。対人関係やチームでの動き方などは、サッカーが教えてくれたと感じています。高校で経済学や経営学に興味を持ち、どちらも深く学ぶことができる大学を志望する中で都立大に出会い、進学しました。

在学中はコロナ禍の真っ只中。主にオンラインで授業を受け、サッカー部への所属も断念しました。ただ、集中して学業に向き合うことができ、成長につながりました。3年次からは管理会計論を専門とする細海昌一郎先生のゼミに所属。統計学の考え方や分析手法の基礎をしっかりと身に付けることができました。

就活では経理職や金融業界を志望。現職の野村信託銀行に入行しました。現在は主計課に所属し、経費のとりまとめや金融庁への書類提出など、大きな責任を伴う業務を担当しています。

まだ働き始めて間もないためわからないことも多いですが、尊敬する先輩の助けもあり日々できることが増えています。今は目の前の仕事に全力で打ち込み、いつか先輩のように、頼りになる存在になることを目標にしています。

都立大は視座が高い学生が多い環境。穏やかなキャンパスで、大学でしか経験できないことを存分に味わってみたい方にはおすすめです。

Profile

犬塚悠太さん
経済経営学部 経済経営学科 経営学コース
2023年度卒業
信託および銀行両業務でのサービスを提供する、野村信
託銀行株式会社に勤務。(2024年度取材時)



得意と興味を追求して進学した都立大。 研究の面白さを知り、研究職の道へ

幼少期、両親がよく博物館や科学館に連れて行って来て、宇宙やロボット、人体、地球環境といった理系分野に興味を持ちました。また、小学校のころには教師になるという夢も持っていました。大学進学にあたっては数学科がある大学を志し、説明会で先生方の高い熱量を感じた都立大に進学しました。

在学中は専門性と難易度の高い授業を受けることができ、先生のサポートを受けて必死に食らいつきました。研究室でも少人数制の指導体制によって、知識を得るだけではない「研究」の面白さに気付き、次第に教師ではなく研究職を志すようになりました。

現在は、日立製作所でデジタル技術に関する社会問題の解決に取り組んでいます。高度にデジタル化した現代社会では、技術が悪用され個人情報や脅かされる問題が多発しています。そうした課題に対し、日立の独自技術を活用しながら対策や検証を行う研究をしています。

今、私がこうした仕事ができるのは、都立大で築いた礎があってこそ。先生方には、本当に感謝しています。都立大での日々は、私の一生の宝物です。

Profile

川名のんさん

首都大学東京 都市教養学部 都市教養学科 理工学系 数理科学コース(現 東京都立大学 理学部 数理科学科) 2017年度卒業
首都大学東京大学院 理学研究科 数理科学専攻 博士前期課程(現 東京都立大学大学院 理学研究科 数理科学専攻 博士前期課程) 2019年度修了。日本最大の総合電機メーカー・株式会社日立製作所の研究開発グループ デジタルエコノミー研究部に所属。(2024年度取材時)



都立大は「挑戦の宝庫」。 成長を求めて挑戦を続けたキャンパスライフ

子どものころは一人で絵を描くなど、好きなことに没頭するタイプでした。理系を志すようになったのは、システムエンジニアとして働く父の姿を日常的に見てきた影響が大きく、IT人材の将来性を感じたことから、大学では情報系の学部を選びました。

都立大を志望したのは、実家近くに南大沢キャンパスがあり、中学時代から何度も訪れて親しみを感じていたからです。大学では「機械学習を使った体験満足度の予測」をテーマに研究。難易度の高いテーマへの挑戦でしたが、非常にやりがいがあり、大きな学びを得ました。現在は日本IBMでITコンサルタントとして、商社向けにシステム導入や業務改善を支援しています。プログラミング知識や研究室で培ったプレゼン力は、顧客とのやり取りや提案に活かされています。お客さまに直接貢献できることや、幅広い知識を吸収し成長できることが大きなやりがいです。

私にとって都立大は「挑戦の宝庫」。授業や研究、部活動など数多くの挑戦の場があり、その経験が今の自分につながっています。これから入学する方にも、積極的に挑戦を楽しんでほしいです。

Profile

藤井珠生さん

システムデザイン学部 情報科学科
2023年度卒業
ITコンサルティング、システム開発、ソリューション提供などを行う日本IBM株式会社に所属。(2025年度取材時)



05

研究の舞台は福岡の川から世界へ。 都立大で培った水と共生する技術者の道

子どものころから自然や環境に興味を持ち、父が開発コンサルタントとして働く姿に影響を受けて土木や構造物に関心を深めました。都立大を選んだのは、土木を専門的に学べる学部があり、少人数で丁寧な指導を受けられると感じたことや、高校の先輩を通じて公立大の魅力を感じていたことが理由でした。

大学・大学院では横山研究室に所属し、福岡県柳川市の河口域で水温や塩分濃度の変化を調査。農業用水とウナギ魚の両立を目指し、適切な水の使い方を提案する研究を行い、地域に貢献できた実感を得ました。さらにフィリピン大学への短期留学も経験し、海外での学びや生活を通して柔軟に挑戦する姿勢を身に付けました。

2025年に日本工営へ入社し、現在は東南アジアでのダム建設や治水、水資源利用に関するプロジェクトに携わっています。まだ学ぶことが多い立場ですが、OJTを通じて実務を吸収しながら成長を重ねています。父の背中を追い、将来的には公共性の高いプロジェクトに携わり、その国の発展に貢献することを目標にしています。

私にとって都立大は「やる気があれば挑戦できる場所」。少人数制で先生との距離が近く、研究や留学など一人ひとりの挑戦を後押ししてくれる環境がありました。その恵まれた学びの場が、今の自分を支えています。

Profile

西野廉さん

都市環境学部 都市基盤環境学科
2022年度卒業
都市環境科学研究科 都市環境科学専攻 都市基盤環境学域 博士前期課程 2024年度修了。社会インフラの調査・計画・設計を行う日本工営株式会社 流域水管理事業本部水資源エネルギー部に所属。(2025年度取材時)



充実した学生生活は「看護の原点」。 アメリカでつけた私の挑戦

憧れがあった獣医師や医師を目指すようになったことから、大学受験で看護にも志望範囲を広げることにしました。都立大の柔軟で、ニュートラルな雰囲気になれ、入学を決めました。

授業はとても楽しかったです。入学当初は「病院で患者さんのケアをする」というごく一般的なイメージしか持っていなかった看護の仕事に、授業を通してその奥深さを知り、自然と惹き込まれていきました。こうして楽しく学べたのは、友人たちの存在が大きかったです。みんな意欲的で、実習やレポートに取り組む際も一緒に居残って頑張ったり、学びを深めたりと、日々切磋琢磨していました。

4年次には、関心があった看護研究方法論を学ぶために、小児看護学のゼミに入りました。そこで子どもだけでなくそのご家族も含めてケアをする視点や、子ども自身が成長過程にあること、障がいの有無などを看護にどう取り入れるかを考えられる点に魅力を感じ、小児看護の道へ歩む決意を固めました。以来、卒業後も小児看護一筋で取り組んでいます。

Profile

ハンセン陽子さん

健康福祉学部 看護学科
2008年度卒業
2016年よりシアトル小児病院(Seattle Children's Hospital)のCICUで勤務。2025年3月に退職し、現在は日本に一時帰国し、大学院進学に向けて準備中。(2025年度取材時)



大学院

高度な専門知識と研究のステージへ

都立大の大学院は、7つの研究科で構成され、さらに細かく専攻や学域が分かれます。本学では全ての学部・学科・コースについて大学院進学へのルートが用意されており、多様な専門性の獲得に挑むことができます。



大学院分野横断プログラム

研究科や専攻の枠を超え分野横断的な科目を体系的に履修。主専攻の科目に加え、研究科や専攻の枠を超えた分野横断的な科目で構成される体系的なプログラムを履修することにより、他分野の先端的な研究を学ぶことを通じて自身の研究力をさらに高めるとともに、研究に対する視野を広げ応用力を身に付けることを目指します。



人文科学研究科

人とその営みを総合的に探究し、学際的研究とグローバルな現代社会の課題に挑みます。時代の変化に即応しながら、極めて広範囲の学問領域をカバーする社会行動学、人間科学、文化基礎論、文化関係論の4専攻を用意。各専攻下の分野／教室において、さらに専門性の高い研究を行うことができます。



社会行動学専攻

グローバル化と高度情報ネットワーク化の下での現代社会の構造と動態を多角的かつ理論的に捉えると同時に、その現実の社会問題への還元を追求します。

- 社会学分野**
 現代の社会変動の動向や社会の諸問題に理論的かつ実証的にアプローチし、知識を問題の解決・改善に活用できる研究教育者を養成します。
- 社会人類学分野**
 社会人類学・文化人類学の研究教育者に加え、世界各地の実情に精通し開発・援助、国際交流分野で活躍できる専門的職業人を育成します。
- 社会福祉学分野**
 社会福祉の各領域で制度・理念、政策形成、援助技術、研究・調査方法論等の高度専門知識と技能を持つ研究教育者、実務家を育てます。

文化基礎論専攻

哲学・思想、歴史・考古学、映像文化などの諸領域から、欧米・アジア・日本の古代から現代に至る幅広い範囲を総合的に理解し、人文学の基礎的知見の修得を目指します。

- 哲学（哲学・西洋古典学）分野**
 哲学と西洋古典学を基に、言語や科学から世界の構造、価値や規範などの論理的・倫理的考察、数学と関連の深い論理哲学の研究等も行います。
- 歴史学・考古学分野**
 日本史・東洋史・西洋史・考古学が一体となり、歴史的な思考力を持ち、幅広い教養を身に付けた職業人・研究者の養成を目指します。
- 表象文化論分野**
 今日の多様化する芸術・文化の諸問題に学際的・領域横断的観点から取り組み、幅広い知識と柔軟な問題解決能力を持った人材を育成します。

人間科学専攻

心理学、臨床心理学、教育学、言語科学、日本語教育学の5分野から、人間の知覚・行動・表現と人間形成のあり方を、実験的手法、臨床的・理論的・歴史的研究により総合的に探究します。

- 心理学分野**
 実験心理学、認知心理学、発達心理学、社会心理学、計量心理学からなり、人間心理の諸側面への研究・教育を行います。
- 言語科学分野**
 言語学における生成文法を軸とした「ことばの研究」を通じ、ヒトの生得的な言語機能と脳科学的基盤を明らかにしていきます。
- 臨床心理学分野**
 心理学分野とは別に博士前期課程のみに設置される高度専門家養成コースで、心理臨床の実践的専門性の修得と研究者育成を目指します。国家資格である公認心理師の受験資格に対応しています。
- 日本語教育学分野**
 母語および外国語としての日本語学から言語教授法、言語接触、言語習得、遠隔教育やマルチメディア教材開発まで幅広い研究を行います。
- 教育学分野**
 教育政策・制度、学校教育、社会教育、幼児教育など教育学の諸領域で、国際的・地域的な視点から、人間形成の理論的・実践的研究、教育を行います。

文化関係論専攻

アジア・欧米の諸文化や言語の研究は、今日のアジアにおける日本の位置を考える上でも重要です。2分野5教室から日本との比較研究を行うことで、日本・アジア・欧米の文化をより深く理解することが目標です。

- 日本・中国文化論分野（日本文学教室）**
 日本語学、神話・伝承文学の表現論、和歌文化論、近世の小説史と文芸思潮、近現代文学の分析、現代日本語論などを主要な研究テーマとします。
- 日本・中国文化論分野（中国文学教室）**
 古典から近現代までの中国語学、中国文学、中国の地域文化史、映画、民俗、サブカルチャーなどを研究対象とし、中国と日本など東アジア諸地域の文化交流史も視野に取り込んでいます。
- 欧米文化論分野（ドイツ文学教室）**
 ドイツ・オーストリアなどドイツ語圏の文学、メディア論を含む思想、美術・音楽・映画などの芸術文化を研究します。
- 欧米文化論分野（フランス文学教室）**
 中世から現代までのフランス語学、フランス語統語論、近世から近代の文学と思想、現代思想を主に研究対象とします。諸地域の文化交流史も視野に取り込んでいます。
- 欧米文化論分野（英文学教室）**
 イギリス、アメリカなどの英語圏を教育研究対象とし、各地域の歴史と言語文化に関する幅広い知識を修得します。

法学政治学研究科

外交や政治に様々な課題を突きつけるグローバル化の進展は、同時に、法治国家の恒久的法体系をも揺るがしかねない問題をはらんでいます。もはや後戻りすることのないグローバル化の波の中、日本の先頭に立つ世界都市・東京で、世界の、社会の秩序を先導する、研究者や法曹の実務家を育成します。



法学政治学専攻

法学分野と政治学分野で入試、授業、学位が異なります。各分野では院生研究室があり、個席が与えられ、教員1人に対して平均2〜4名という徹底した少人数演習に加え、研究会形式の総合演習も行われます。

- 法学分野**
 広い視野に立つて精深な学識を究め、自立して研究活動を行い得る法学研究者や、高度な専門的知識を有する職業人・公務員を志す人材の育成を目指しています。
- 政治学分野**
 政治学に関する基礎的な訓練を集中的に行い、高度な専門能力と幅広い視野を備えた政治学研究者と実務家の育成を目指します。

法曹養成専攻

様々な法的問題・紛争に柔軟に対応できる法律家の養成を目指します。研究者による理論的な指導のほか、裁判官、検察官、弁護士などの実務家による授業も提供し、理論と実践をバランスよく学ぶことができます。

■法曹養成専攻（法科大学院） Law School
 東京に集中する法律の諸問題を解決すべく実務能力に優れた法曹を育成します。

法科大学院は、法曹養成に特化した教育を行う専門職大学院です。修了すると「法務博士（専門職）」の学位が取得でき、これが司法試験の受験資格にもなります（一定の要件を満たした場合は在学中に司法試験受験資格が得られる場合があります。）。グローバル社会の拠点である東京では、多様な次元で複雑に絡み合った、様々な問題が生じています。本専攻は、国際的な水準の研究を法科大学院生に還元し、東京に集中する困難な法的問題に正面から取り組み、新しい時代を切り拓く法曹の養成を目指しています。その基本理念は、個人、企業、国・地方自治体が、協力・協働していく社会を支える、優れた法律家の養成です。また公立の法科大学院として、経済的負担を可能な限り軽減することで、より多くの人々に法曹界への門戸を開放しています。

■3つの特色

- 東京の複雑な法的課題に取り組む**
 企業活動、公益活動、国際的な領域など、現代社会の法的課題に対応できる高度な能力を備えた法曹の養成を目指します。
- 伝統と実績に基づく幅広い法学教育**
 長年蓄積してきた膨大な研究や人的資源に裏打ちされた基礎法学、政治学についても幅広く学ぶことができます。
- 教員と院生が向き合う少人数教育**
 少人数教育を教育理念とし、教員と院生が向き合う双方向的な授業手法を実践しています。

修業年限およびカリキュラム		
修業年限	3年履修課程	法学未修者向け
	2年履修課程	法学既修者向け
修了に必要な単位数	3年履修課程	97単位
	法律基本科目	58単位(必修)
	実務基礎科目	10単位以上
	基礎法学・隣接科目	4単位以上
	展開・先端科目	12単位以上
	2年履修課程	67単位
	法律基本科目	28単位(必修)
	実務基礎科目	10単位以上
	基礎法学・隣接科目	4単位以上
	展開・先端科目	12単位以上

必修とされる分を除き、25単位以上

必修とされる分を除き、25単位以上

経営学研究科

グローバル化やインターネットの発達、地球環境への配慮など、経済活動を取り巻く変化や社会的要請を織り込んだ学術的かつ実践的な教育を推進。首都・東京に潜在するエネルギーを現実の活力に転換できる、第一線の研究者や経営管理者・企業家・ファンドマネージャーなど高度専門職業人を養成しています。



経営学専攻

博士前期課程には、「経営学プログラム(MBA)」「経済学プログラム(MEc)」「ファイナンスプログラム(MF)」の3つのプログラムを設置しています。授業は主に丸の内サテライトキャンパスで平日の夜間と土曜日に開講されます。博士後期課程では、経営学・経済学・ファイナンスの分野における高度な研究能力を養成します。

経営学専攻博士前期課程

経営に関する高度な専門知識と分析能力および論理的思考力を兼ね備えた専門職業人材の育成を目指す経営学プログラム(MBA)、経済学に関する専門的な知識を有し、学術的あるいは実務的な課題について幅広い視野で研究を遂行できる能力を持った研究者と実務家を育成する経済学プログラム(MEc)、および「国際金融都市・東京」構想の一環として、国際的な金融センターで活躍できる高度金融専門人材の育成を目指すファイナンスプログラム(MF)の3つのプログラムを展開します。

- 経営学専攻 経営学プログラム (MBA, Master of Business Administration)**
 組織を動かす経営管理者・企業家、新しい経営学を切り拓く研究者を養成します。
 経営学分野の高度な科目を多数提供し、少人数教育によって幅広い専門的知識を身に付けます。修士論文等の執筆が必須であり、指導教員を中心とした丁寧な指導で論理的分析能力と研究能力を培います。文系出身者だけでなく理工学系出身の社会人も積極的に受け入れており、仕事を続けながら学位を取得できる環境が整っています。高い能力を持つ専門職業人と研究者の養成により、新事業の創成や経済の活性化に貢献します。
- 経営学専攻 経済学プログラム (MEc, Master of Economics)**
 刻々と変化する経済の課題に対して学術と実務で解決に導けるオーソリティーを育成します。
 学術的あるいは実務的な課題について幅広い視野を持って研究を遂行できる能力を持った研究者および実務家を養成します。経済活動の分析、経済政策の立案、企業の効率的な活動の提言を行うための知識・手法および課題への取り組み方を学びながら、経済システムや経済社会の事象をグローバルな視点で分析。問題解決のための政策提言を行う能力を養います。学部で経営学・経済学を学ばなかった理工学系出身の社会人学生を積極的に受け入れています。
- 経営学専攻 ファイナンスプログラム (MF, Master of Finance)**
 資産運用、財務戦略、金融商品開発、金融リスク管理などを担う、金融のプロを養成します。
 国際的な金融センターで活躍できる、ファンドマネージャー、クオンツアナリスト、金融リスク管理者、トレーダー、金融商品開発者、金融政策立案者、財務アナリスト、財務コンサルタント、財務責任者などの金融のプロフェッショナルを養成します。少数の学生を対象にした密度の高いカリキュラム、金融データ分析やケーススタディーなどの実践的な授業が特徴で、修士論文は必須です。「投資運用」「デリバティブ」「金融リスク」「金融経済学」など幅広い分野の履修を通じてファイナンスを体系的に学べます。

CHECK!



理学研究科

理学の4つの基幹分野において、世界トップレベルの研究を幅広く推進しています。充実した講義・演習、最先端の実験装置、学内外の研究グループと連携した指導などに支えられ、基礎から応用へとつながる知識・技術を修得。高い研究力をベースに、自然科学の謎にチャレンジする活発な研究者を養成します。



数理学専攻

代数・幾何・解析・応用数理の各分野における体系的理論の修得と、課題解決型テーマへの主体的な取り組みを通じて、現代数理学の最先端へ誘います。理学系・工学系分野との交流により、視野の広い人材を育成します。

- 代数学分野
- 幾何学分野
- 解析学分野
- 応用数理分野

物理学専攻

素粒子、多様な構造を持つ物質から宇宙まで、自然界を広く対象とする物理学の高度な知識と研究能力を持ち、次世代の先端科学を担い得る人材、社会・環境における諸問題を科学の基礎に立って解決し得る人材を育成します。

- 素核宇宙理論研究グループ
- 物性基礎理論研究グループ
- 素粒子・原子・宇宙実験研究グループ
- 物性物理研究グループ

化学専攻

物質の性質や変化を、電子の振る舞いによって理解するのが化学という学問です。配属された研究室での研究と共に、教室での講義を重視することによって、最先端の高度な知識を身に付けた研究者の育成を目指します。

- 無機 - 分析化学分野
- 有機 - 生物化学分野
- 物理化学分野

生命科学専攻

遺伝子・細胞・集団・種・生態系など生命科学の広範な分野を対象に、動物、植物、微生物など様々な生物材料を用いて、基盤的・先端的双方の研究を行える多様性が大きな特色で、大学院生が自主的に専門家から学び、異分野間の交流も活発に行えるカリキュラムが整っています。2018年度から、東京都医学総合研究所等の教員を含めた応用生命科学領域を設置しました。

都市環境科学研究科 都市環境科学専攻

都市環境を構成する「人間」「物質」「エネルギー」「情報」「人工物」「自然」の各要素について、観測と解析を基礎に相互作用を明らかにし、それらが融合した新しい領域を対象に先進的な研究を推進。メガシティの将来を先導する人材を育成し、科学体系としての都市環境科学の確立を目指します。



地理環境学域

地理環境は、自然と人工物、さらに都市から地球に至る空間的広がりを持ちます。過去から現在に至る地理環境と人間のダイナミックな相互関係を、異なる空間スケールで起こる現象相互の関連性を踏まえて解明することを目指します。

都市基盤環境学域

「社会基盤」「環境システム」「安全防災」の観点から、都市基盤環境学を体系的に研究します。国内外の研究機関との連携研究や共同講義、さらにセミナーや実験・実習を通じ、主体的に課題を発掘し解決できる人材を育成します。

建築学域

安全・快適・魅力的で環境負荷の少ない建築都市空間を創出する研究、建築物の諸問題に対する広範囲な研究などで学術と社会に貢献します。幅広い理論と技術を修得し、建築的問題を解決する能力と高い専門性を養います。

環境応用化学域

地球環境と共生しながら、有限な地球資源やエネルギーの下で人類や社会が持続的に発展していくために、応用化学や材料化学における先進的な役割を果たし得る創造的かつ問題発見・解決能力のある技術者・研究者を育成します。

観光科学域

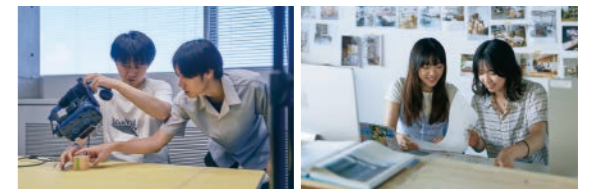
従来の観光学や観光政策論に加え、地理学や生態学などの理学的方法、都市工学や交通工学などの工学的方法、実践的なまちづくり手法、ITツールを駆使した観光情報・行動の分析や発信など情報学的方法から「観光」に対しアプローチします。

都市政策科学域

ダイナミックな変化を遂げる現代の都市を文理横断的な視点から総合的に捉え、安全・安心・快適な都市のあり方を、空間・制度・社会など種々の面から解明・考究し、持続可能な都市づくりを実践できる人材を育成します。

システムデザイン研究科 システムデザイン専攻

システム要素に関する領域を科学的・横断的に俯瞰し、教理・論理的手法に加え人間の要素も視野に入れたシステムデザインを追求します。知的社会を支える高度な専門知識や技術力を持つ研究者・技術者、さらに時代を先導する「システムデザイン力」を身に付けた技術者・クリエイターの育成に力を注いでいます。



情報科学域

急速に技術革新を続ける情報技術は、その安定運用やセキュリティの脅威に関わるリスク管理など、未知の技術課題が次々に現れます。そんな情報技術の環境を、より完成度の高い次元のシステムにデザインし、グローバルに活躍できる技術者・研究者を育成します。

電気電子工学域

高度な専門教育と先端的課題研究を通して、「電気電子工学技術に関する体系的・総合的知識基盤を持つ創造的な技術者・研究者を育成すること」を基本理念としている。電磁気学および電気回路学を学問体系の主要な柱と位置づけこれらの体系的総合的知識に基づく高度な実践力、課題解決・発見能力、高い倫理観・使命感を兼ね備えた技術者・研究者の育成を目指している。

機械システム工学域

都市生活における人間の安全・快適性および環境や社会の持続可能性に配慮した先進の機械システム工学を基盤に、「機械創成領域」「知能機械領域」「生体機械領域」の3領域で、学際分野、未開拓分野にも対応可能な創造性や応用展開力を有する研究者を育成します。

航空宇宙システム工学域

航空機・宇宙機の要素技術、システム設計技術、宇宙開発利用の総合工学としての航空宇宙工学の教育を通じ、広い視野から問題の本質を見出し課題を解決する能力を育成します。航空宇宙分野をはじめ、あらゆる分野・業種において幅広く活躍できる技術者・研究者を養成します。

インダストリアルアート学域

プロダクトデザインとメディア創生の2分野を軸に、社会・価値観・技術革新の変化に迅速に対応し、新しいアプローチ、枠組みのデザインを創造・研究し、時代を先導できる柔軟で斬新な発想力を持つクリエイターや研究者を育成します。

人間健康科学研究科 人間健康科学専攻

大都市で生活する人々の「健康」に関する研究を、6つの学域から多角的に行います。生理学的手法を用いる基礎的研究から、臨床研究やフィールド調査に至る幅広い研究に対応。本学の使命の一つである「活力ある長寿社会の実現」に向け、高度実践的専門家や先端研究者の育成を目指します。



看護科学域

多様な専門分野で研究を行うほか専門看護師コースも設置。大都市で生活する人々と地域の「健康」をテーマに、看護科学の研究・教育を通じて個人と集団の健康に寄与し、生活の質の向上と活力ある長寿社会の実現を目指します。

- 看護倫理・管理学分野
- リプロダクティブヘルス看護学分野
- 小児看護学分野
- 成人看護学分野
- 療養生活支援看護学分野
- 地域精神看護学分野
- 在宅看護学分野
- 国際看護・医療人類学分野
- 公衆衛生看護学分野
- 助産学分野
- 専門看護師(CNS)コース(小児看護学、慢性看護学)

理学療法科学域

臨床科学技術や健康・障害に関する理学療法の知識・技術と科学的思考を体系的・総合的に学び、高度な理学療法専門技術の開発や地域の健康づくり促進などの研究を通じ、創造力と応用力を持つ高度実践専門家・研究者を育成します。

- 運動障害分析理学療法学分野
- 身体機能回復理学療法学分野
- 地域理学療法学分野
- 徒手理学療法学コース

作業療法科学域

障害論と実践的知見に基づいた作業療法学の探究から、新たな知見を得て社会に還元。かつ独創性を発揮し保健医療福祉サービスの向上に貢献できる人材を育成します。

- 心身機能作業療法学分野
- 作業行動科学分野
- 作業生活環境科学分野

放射線科学域

放射線学の専門知識と科学的思考を持った高度放射線専門職、および専門領域と他領域の研究成果を理解・統合し先端医療技術を開発できる人材を育成します。

- 放射線診断物理学分野
- 核医学物理学・保健物理学分野
- 放射線治療物理学分野
- 医用画像情報学分野
- 画像診断学分野
- 医用放射線計測学分野
- 医学物理士コース(放射線治療物理学・診断物理学)

フロンティアヘルスサイエンス学域

生命科学、神経科学、基礎・臨床医学、疫学などの学際的・先端基礎科学的研究戦略でアプローチし、先端基礎科学的領域の高度研究者・教育者や実践的専門家を養成します。

- 機能形態解析科学分野
- 筋内生理学分野
- 社会科学的保健医療論・災害リスク管理論分野

ヘルスプロモーションサイエンス学域

心身の健康増進に関わる諸問題に対して、スポーツ科学、生命科学、認知科学等の観点から、新たな健康科学を創造・推進するための高度専門家を育成します。

- 適応科学分野
- 行動科学分野

専攻科 助産学専攻科

本専攻科は、すでに看護師の資格を取得し、大学を卒業した女子を対象とした1年間の助産学教育課程です。助産師としてのコアスキルの修得とともに、地域住民との連携と支援、専門職としての多職種との連携教育を特徴としており、子育て支援・近隣の学校で健康教育の実施、大学院との合同授業をしています。

先端研究プロジェクト

CHECK!



都立大が推し進める研究の数々—それは、大都市・東京そして世界の課題解決に立ち向かう世界の先端研究であり、その成果は近く社会へ還元されていきます。人文科学から自然科学まで、都立大を代表し、日本をリードする叡智の過程を紹介します。

CASE 1 「海」から捉え直す アジア・オセアニア連環世界

人文社会学部
河合 洋尚 教授

従来の地域研究から脱し、海域という視点を強調することで、東アジアや東南アジア、さらにはオセアニアにおける新たな地域研究の構築を目指します。

CASE 2 倒産法と実体法の 再構成を考える

法学部
加藤 甲斐斗 准教授

倒産手続という状況において、倒産法特有の事情によって実体法秩序を修正、変容させても良いのではないかと余地を考えることを目的としています。

CASE 3 中央銀行「最後の貸手」 機能とモラルハザード

経済経営学部
松岡 多利思 教授

金融危機やモラルハザードに対処しながら、金融システムを安定化させるという社会課題に挑みます。

CASE 4 タンパク質分解システムが操る ウイルス免疫の新機構

理学部
川原 裕之 教授

新合成不良タンパク質を認識し、分解系へ誘導する新しい細胞内システムを発見。新しいワクチン開発などに役立てるため、基礎研究を進めています。

CASE 5 外来生物の基礎生態と シミュレーションを組み合わせる

都市環境学部
大澤 剛士 准教授

外来生物を効率的に駆除していくため、対象生物の基礎的な知見と、高性能なコンピューターを用いて将来の分布拡大を予測する手法の開発に取り組みます。

CASE 6 運動器疾患によるQOLの 低下と損害にアプローチする

システムデザイン学部
藤江 裕道 教授

運動器疾患とそれに伴う生活・人生の質(QOL)の低下に対し、細胞機能・特性に着目した研究と、関節などの器官に着目した二つの研究を行っています。

CASE 7 錯覚が神経修復の 潜在能力を引き出す

健康福祉学部
金子 文成 教授

XRやAI技術を活用して、脳・脊髄損傷後の感覚運動麻痺に対する神経回路の機能再編を促し、患者一人ひとりに最適化された理学療法を実現することを目指します。

先端研究プロジェクト

CASE 1

人文社会学部
河合 洋尚 教授

「海」から捉え直す アジア・オセアニア連環世界



「分断的な地域研究」から「統合的な海域研究」へ

海域アジア・オセアニアは、日本の南西諸島、台湾、中国南部沿岸部、東南アジア島嶼部、オセアニア島嶼部を中心として広がる、境界なきエリアを指します。また、これらの地域には「海域世界」に位置するという共通項があります。本研究プロジェクトは、陸域よりも海域に比重を置くことを試みる点に大きな特徴があります。陸域に基づく国家や東アジアや東南アジア、オセアニアといった従来の地域概念によって分断されがちな地域研究を脱し、海域という視点を強調することで、東アジアや東南アジア、さらにはオセアニアといった複数の地域を同時に対象とできるような新たな地域研究の構築を目指します。海域アジア・オセアニアは、歴史的に人、モノ、情報の相互交流が盛んな地域でありましたが、21世紀に入りその傾向がますます強まっています。本研究拠点は、「島嶼世界における人とモノの流動性」をテーマとし、特に人類学の視点から、(1)東アジア・東南アジア・オセアニアを跨ぐ人の移動、(2)移動民がもたらした文化・経済・環境への諸影響、(3)現地社会の生活の変化、(4)商品や景観などにみる流動性の物質的現れの調査と説明を行います。

オーストロネシア語族の分布図



オーストロネシア語族は、台湾から東南アジア、オセアニアの島嶼部(ニュージーランドを含む)、イースター島、マダガスカルなど、まさに海を跨いだ広範な地域に分布します。

CASE 2

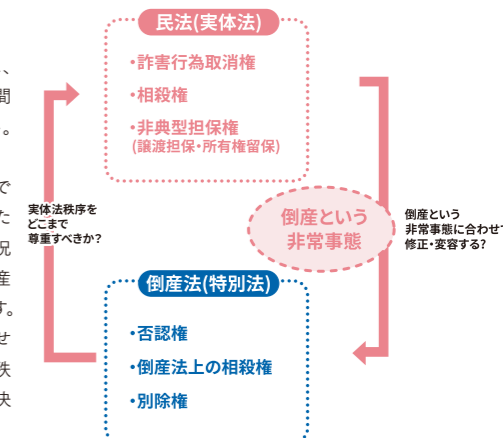
法学部
加藤 甲斐斗 准教授

倒産法と民法、 その調整とは



法改正により起こり得る実体法・倒産法両秩序の課題

倒産手続は、債務者が支払不能等、経済的な苦境に陥った際に開始する手続です。その目的は、債務者のわずかな財産を債権者間で平等、公平に分配することにあります。もっとも、債権者間で平等、公平に分配するといっても、各債権者に同じ額の金銭を分配するわけではありません。債権者の有する債権の実体法上の性質や、債権額等が考慮されます。以上のように、倒産法秩序は、原則、権利・義務の内容や発生・変更・消滅の条件などを定める法律である実体法(≒民法)を基準としています。一方、倒産手続が開始しているということは、先に述べたとおり、債務者の残りわずかな財産を債権者全員で公平、平等に分配するという切羽詰まった状況に陥っていることを意味します。そうすると、実体法の秩序、論理を必ずしも尊重せず、倒産法特有の事情によって、実体法秩序を修正、変容させても良いのではないかと考える余地があります。民法改正等では、詐害行為取消権と否認権等、実体法秩序と倒産法秩序とを可能な限り、一致させようという試みがなされました。しかしながら、かかる法改正によっても、実体法秩序と倒産法秩序との間にずれが生じ得る局面(相殺等)は存在しており、これらを解釈によってどのように解決すべきか、難しい問題が存在しています。



CASE 3

経済経営学部
松岡 多利思 教授

中央銀行の「最後の貸手」 機能と金融機関のモラルハザード



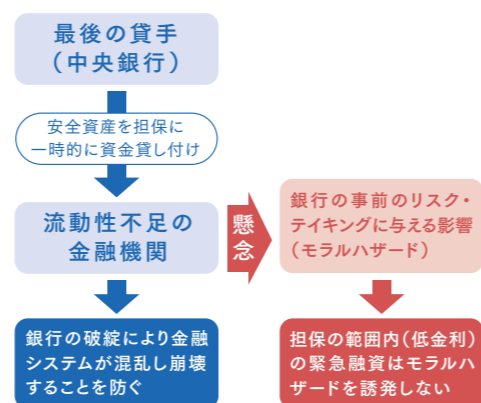
金融システムの安定化という社会的課題に挑む

2023年3月、米シリコンバレー・バンクが経営破綻しました。この経営破綻の裏にあったのはSNSの情報拡散を通じた大規模な「銀行取り付け」。些細な良くない情報が拡散されれば、たとえ銀行経営に問題がなくても、取り付けは発生します。これまで国や時代を問わず、銀行危機は繰り返されてきました。

銀行危機に対し、どのように対処すればよいでしょうか。中央銀行には「最後の貸手」と呼ばれる機能があります。この機能は、流動性不足に陥った金融機関に対して、中央銀行が安全資産を担保に一時的な貸し付けを行うことをいいます。その銀行の破綻により金融システムが混乱し崩壊することを防ぐことが目的です。しかしながら、危機時に中央銀行が救済してくれると民間銀行が予想すれば、適切な貸し付け業務を怠り、リスク資産の過度な保有を促す可能性（モラルハザード）があります。

金融機関のモラルハザードを抑制しつつ金融システムを安定化させる制度を構築することは社会的課題です。この課題に取り組むため、私は共同研究者と理論モデルを開発し、「最後の貸手」政策の理論的分析を行いました。本研究を継続し、金融システムの安定化に貢献したいと思っています。

「最後の貸手」の機能と懸念



CASE 4

理学部
川原 裕之 教授

タンパク質分解システムが操る ウイルス免疫の新機構

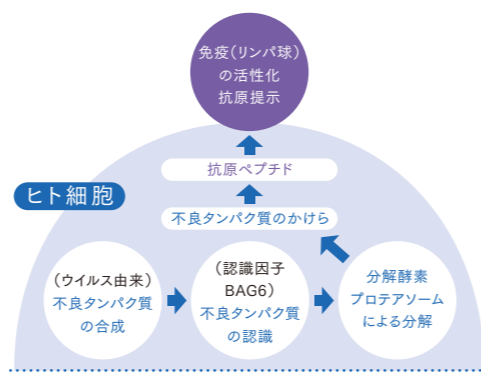


新合成不良タンパク質を認識し分解系へ誘導する細胞内システムを発見・解明

生物学の教科書には、転写・翻訳のシステムが巧みにタンパク質をつくり出す様子が記されています。しかし、実際のタンパク質合成の現場では、このプロセスの成功率は必ずしも高くありません。健康な我々の細胞でも、膨大な数量の不良（出来損ない）タンパク質が日常的に産生されているのです。私たちの研究室では、これら、新合成不良タンパク質を認識し、分解系へ誘導する新しい細胞内システムを発見しました。

最近、とみに注目されているのは、不良タンパク質の分解産物です。これらは無用の廃棄物ではなく、免疫系に必須の役割を果たしていることがわかってきました。リンパ球の標的となる抗原ペプチドこそ、私たちが研究している不良タンパク質の分解産物なのです。例えば、ウイルス感染細胞内で、ウイルスタンパク質の分解産物が抗原ペプチドとしてリンパ球の活性化を促しています。最近、接種が進んでいる新型コロナウイルワクチンも、ウイルス由来の不良タンパク質を私たちの細胞内で生成・分解することで、リンパ球の標的となる抗原ペプチドを積極的に産生させているのです。都立大の研究室では、今後の新しいワクチン開発などにも役立つため、タンパク質分解の基礎研究を活発に進めています。

タンパク質分解システムが操る ウイルス免疫の新機構



CASE 5

都市環境学部
大澤 剛士 准教授

外来生物の基礎生態と シミュレーションを組み合わせる

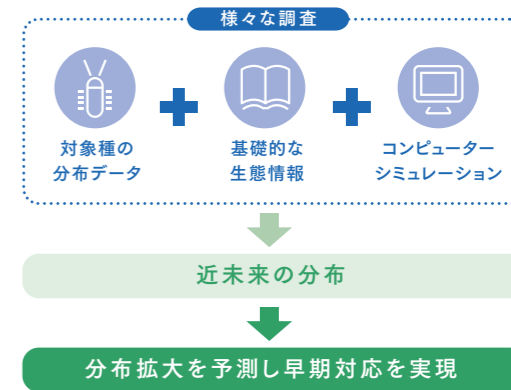


人間に悪影響をもたらす外来生物の分布拡大を予測し、先手先手で対応する

グローバル化が進むに従い、様々な生物が本来の生息域から逸脱し、新たな生息地に定着するケースが多々知られるようになりました。これら「外来生物」の中には、健康被害や農業被害、地域の生物多様性への悪影響など、様々な問題を引き起こすものが含まれます。生物に罪はありませんが、悪影響をもたらす生物は駆除等の対策を講じる必要があります。

既に定着し、分布域を広げつつある外来生物を効率的に駆除していくためには、駆除技術に加え、駆除労力を空間的にどのように配分するかという広域計画が必要になります。これを実現するために、対象生物の生態情報に基づいて将来の分布拡大を予測する手法の開発に取り組んでいます。これは例えるならば天気予報のようなもので、この場所は侵入確率何%、この場所は何%というように、対象種が侵入する可能性をコンピューターシミュレーションで予測するというものです。この実現には対象生物の基礎的な知見と、高性能なコンピューターを扱う技術の両方が必要であり、学際的な研究アプローチであるといえます。

外来生物の分布拡大を予測



CASE 6

システムデザイン学部
藤江 裕道 教授

運動器疾患に伴う QOLの低下と傷害に対し、 細胞と器官の面からアプローチ

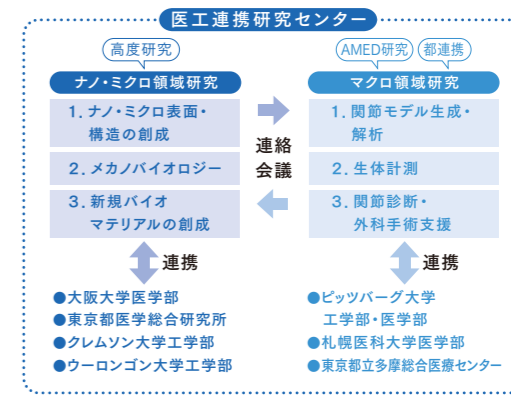


運動器の疾患・傷害に、新たな方法論を加えて治療レベルの向上を目指す

超高齢社会に突入した我が国において、運動器疾患とそれに伴う生活・人生の質(QOL)の低下が大きな社会的問題になっています。また、スポーツの興隆により運動器傷害が多発しており、これも大きな問題になっています。医工連携研究センターでは、これらの問題を解決するために、医学・生物学的観点に力学的・機械工学的なアプローチを組み合わせ、細胞機能・特性に着目したナノ・ミクロレベルの研究と、関節などの器官に着目したマクロレベルの研究の二つの研究を行っています。

ナノ・ミクロレベルの研究では、東京都高度研究などの研究支援を受けて、力の環境と細胞機能の関係を明らかにする研究領域であるメカノバイオロジーの観点から、幹細胞分化の基礎メカニズム解明と、軟骨-骨結合部などの複合生体組織を培養環境で生成する再生医療技術の確立にチャレンジしています。マクロレベル研究では、日本医療研究開発機構 (AMED) などの研究支援を受けて、他大学の医師・研究者や医療器具開発企業の研究者と共に、人工関節手術などの外科手術を患者ごとに最適化するための革新的医療技術の創成・開発にチャレンジしています。

医工連携研究センターの組織構成



CASE 7

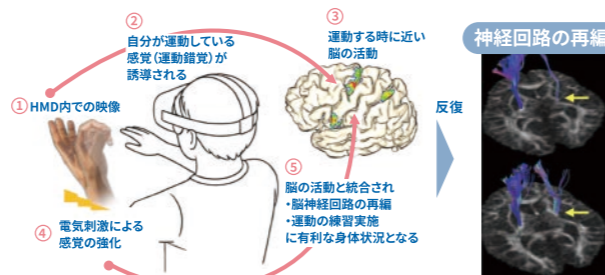
健康福祉学部
金子 文成 教授

動かない身体が“動く”と感じる、その錯覚が神経修復の潜在能力を引き出す



損傷後の脳内で運動感覚を再現し脳機能修復を促す

脳卒中、または事故で脳や脊髄が損傷すると、手足が動かなくなる「感覚運動麻痺」が起こり、生活の質が大きく低下します。回復の度合いは人により異なるため、最適ナリハビリテーション治療の方法を決めることは容易ではありません。私たちは、XR(仮想現実や拡張現実)やAI技術を活用し、もともと人が持っている修復力を引き出す新しい理学療法の研究に取り組んでいます。具体的には、仮想の身体アバターを自分の身体のように感じる「錯覚」を利用します。映像を観察するだけで、脳内に運動イメージを他動的に再生させます。これによって、患者が自分で運動をしなくても、運動をしている時と近い脳や脊髄の活動状態を再現することで、運動に関わる神経回路の機能を活性化します。さらに、電気刺激を組み合わせることで治療効果を高められることも実証しました。また、脳画像と身体機能データをAIで解析し、治療効果や将来の回復を予測する「理学療法のデジタルツインモデル(Digital Twin Model of Physiotherapy Based on Brain Imaging and Functional Data)」の構築を複数の医療機関と共同で進めています。基礎研究と臨床応用をつなぎ、患者一人ひとりに最適化された近未来型理学療法の実現を目指しています。

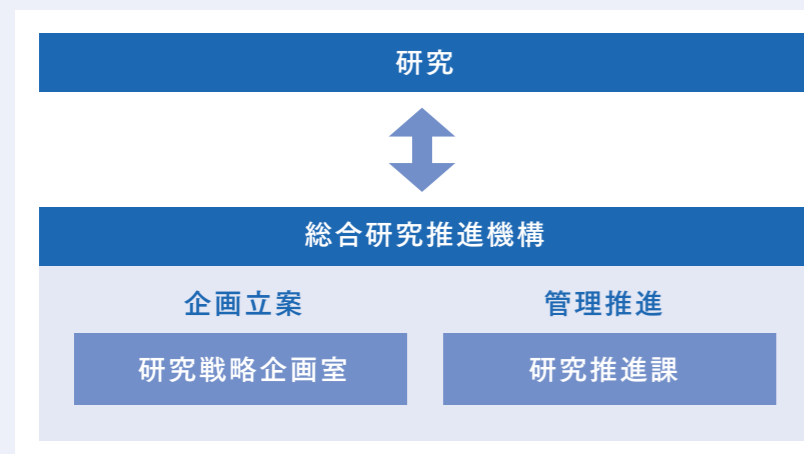


総合研究推進機構

研究大学としての研究力強化とプレゼンス向上を目指した研究推進体制です

研究戦略の立案を行う「研究戦略企画室」と、科研費獲得から産学連携まで一貫した研究支援を行う「研究推進課」から構成される『総合研究推進機構』が、学内の研究活動のさらなる活性化と国内外での研究大学としてのプレゼンス向上を目的として設置されています。

研究推進体制



●研究戦略企画室

学内資源を有効活用し、研究プレゼンスを高め、「世界の頂点」となり得る研究分野を構築するために、本学の研究推進に関する企画立案や研究支援に必要な業務を実施するなど、機構長のトップダウンにより学内外の様々な環境変化に迅速に対応しています。

●研究推進課

研究IR、研究資金の獲得、企業や外部機関との連携の提案、契約交渉、研究プロジェクトマネジメント、研究成果の広報、社会貢献(実用化・事業化)に至るまで、大学の研究活動をトータルに推進しています。

様々な制度・学生生活

全ての学生の学びを支援

都立大では、全ての学生がのびのびと学べるよう、多様な制度を用意しています。また、グローバルな教育環境の構築に向けて、国際的な交流支援や留学生の受け入れの支援などを行っています。



学費・減免・奨学金制度

高い修学意欲に応えるべく、経済的な事情などで学生生活の継続が困難な場合に、負担を軽減する支援制度を整えています。入学科・授業料の減免制度、授業料の分納制度など学費の負担を軽減する制度、各種奨学金制度を用意しています。

学費について

授業料	学部：520,800円	大学院：520,800円 法科大学院を除く。	法科大学院：663,000円
-----	-------------	------------------------	----------------

※学費は、在学中に授業料が改定された場合、改定後の金額が適用されます。

減免制度について

●入学科減免

①生活保護世帯②1年以内に学資負担者の死亡による生計困難③1年以内の天災その他の災害による生計困難のいずれかに該当する場合に限り、申請により入学科が減額・免除されます。

●授業料減免

経済的困窮者や都内子育て世帯及び私費留學生に向けて授業料を減額・免除する本学独自の制度です。前期・後期のそれぞれ申請が必要となり、申請した場合、審査結果が通知されるまで授業料の徴収は猶予されます。

●授業料分納

経済的理由により、授業料の一括納入が困難な場合、申請により各期の授業料を3回に分割して納入することが可能です。前期・後期にそれぞれ申請が必要です。

●授業料減免の概要

①経済的困窮者に対する減免

対象：正規学生(私費留學生を除く)

所得要件：学生及び生計維持者の減免額算定基準額(合算)が規定未満

支援内容：本人及び生計維持者の減免額算定基準額(合算)に応じて全額免除又は半額減額

減免算定基準額＝区市町村民税所得割の課税標準額×6%－(要請控除額＋税額調整額)

減免額算定基準額	年収目安 ^{※1}	授業料減免
107,100円未満	約478万円未満	全額免除
107,100円以上191,100円未満	約478万円以上約674万円未満	半額減額
191,100円以上	約674万円以上	対象外

※1 年収目安は世帯人数4人のモデル世帯の場合。※上記以外にも対象外となる各種要件があります。※私費留學生対象の支援制度は別途あります。詳細はHPをご確認ください。

②都内子育て世帯に対する免除

対象：博士後期課程以外の正規学生(私費留學生を除く)

住所要件：学生の生計維持者が減免を受けようとする年度の前年度の12/31以降基準日まで都内在住の者

進学までの期間に関する要件：(学部生)高校等を卒業した翌年度末日から入学まで2年以内の者 他/(学部生以外)大学等を卒業後すぐ進学し、進学年度の前年度末年齢が24歳までの者

支援内容：全額免除

●高等教育の修学支援新制度(学部生のみ、入学科・授業料減免)

入学科・授業料の減免と日本学生支援機構給付奨学金の支給を併せて行う制度です。入学科・授業料は、支援区分に応じた金額が減免の対象となります。なお、授業料は本学独自の上乗せにより、いずれの支援区分でも全額免除の対象となります。また、多子世帯の学生は、所得にかかわらず入学科・授業料が全額免除の対象となります。

奨学金制度について

意欲と能力のある学生に対し、経済的な理由で学業と学生生活継続が困難にならないよう、貸与または給付で学資援助を行う奨学金制度があります。

●日本学生支援機構給付奨学金(学部生のみ)

日本学生支援機構の給付型の奨学金は、国の高等教育の修学支援新制度の一部で、原則として返還の義務がありません。給付奨学金の支給対象になることで、授業料・入学科料が免除又は減額されます。世帯の所得金額に基づくI～IVの支援区分に応じた金額が原則として毎月振り込まれます。給付奨学金の月額[※]は日本学生支援機構のHPよりご確認ください。※国公立の月額

●日本学生支援機構貸与奨学金(月額)

募集年次	区分	貸与月額
学部	第一種	自宅通学者 20,000円・30,000円・45,000円 自宅外通学者 20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
	第二種	20,000円から120,000円のうち1万円単位で選択(有利子・上限年利3%)
大学院	博士前期・法科大学院	第一種 50,000円・88,000円
	博士後期	第一種 貸与月額：実際に支払う額の授業料(最大535,800円/年)＋生活費奨学金(0円・20,000円・40,000円) 80,000円・122,000円 第二種 50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円の5種から選択(有利子・上限年利3%) 法科大学院生は、別途金額設定あり

※日本学生支援機構の奨学金については、今後変更される可能性があります。詳細は日本学生支援機構のHPをご確認ください。

●民間・地方公共団体奨学金

企業・財団などの民間団体や、都道府県・市区町村などの地方公共団体による奨学金制度です。募集時期や条件は団体ごとに異なります。応募には大学からの推薦が必要な場合もあります。

グローバル人材育成入試／国際副専攻コース

都立大では、国際社会の第一線で活躍できるグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。「グローバル人材育成入試」で入学する学生および入学後の学内選考に合格した学生は、主専攻科目の履修と並行して、海外留学が必修のカリキュラム「国際副専攻」を履修し、確かなコミュニケーション力や、多様な文化に適應可能な実行力を身に付けます。

CHECK!



2027年度グローバル人材育成入試

募集人員		
人文社会学部	人間社会学科	2名
	人文学科	2名
経済経営学部	経済経営学科	5名
都市環境学部	地理環境学科	若干名
	都市基盤環境学科	若干名
	建築学科	若干名
	環境応用化学科	若干名
	観光科学科	若干名
システムデザイン学部	都市政策科学科	若干名
	情報科学科	若干名

出願要件(必要な英語の能力)

次のいずれかのスコアを有する者

- TOEFL iBT 72 以上
- IELTS 5.5 以上
- 実用英語技能検定 準1級2,300以上、1級2,304以上
- GTEC (Advanced,CBT) 1,180 以上
- TEAP 309 以上
- ケンブリッジ英語検定 160 以上
- TOEIC L&R/TOEIC S&W 1,560 以上

※選抜方法は、募集する学科によって異なります。詳細は募集要項(7月下旬頃に公表予定)をご覧ください。

国際副専攻コース



※入学後学内選考はグローバル人材育成入試と同等の英語の能力を出願要件とします。詳細は入学後に実施するガイダンスでご確認ください。

T-GLIPs／共創学部(GLIDe)(構想中)

都立大は、これまで進めてきた国際化をさらに加速し、新たな取り組みを展開する予定です。今後の最新情報については、HPにて随時更新いたします。※本事業は現在計画中の段階であり、今後変更が生じる可能性があります。

CHECK!



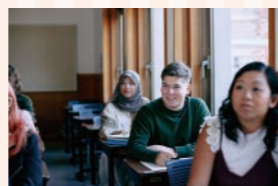
T-GLIPs: TMU-Global Leaders for Innovation Programs (2027年度4月から導入)

T-GLIPsは、各学部・学科の専門分野において、**確かな専門知識と幅広い国際的視野を有する人材を育成**するため、**英語のみで履修**し、学位を取得できるプログラムです。2027年度に都市環境学部の4学科(地理環境学科、都市基盤環境学科、環境応用化学科、観光科学科)で導入を開始し、他の学部・学科へ順次拡大予定です。出願要件や選抜方法は学科によって異なります。詳細は募集要項をご覧ください。

共創学部(GLIDe: Global Innovation and Development)(2028年4月開設予定※構想中)

共創学部(GLIDe)では、文理の枠にとらわれない5つの専門分野(**地域社会・国際政治・開発経済・都市科学・生態保全**)を幅広く学び、地球規模の課題や都市を取り巻く課題の本質を見抜き、新たな価値を生み出す力を養います。本学部における教授言語は原則として英語です。国内外の学生が同じ教室で学ぶことで、文化や価値観などの違いを理解し、柔軟な発想力を育みます。また、**海外留学^{*1}や企業実習等^{*2}**のこれまでとは異なる環境の下で、**国際的な視野を養い、世界で活躍できる人材**を育成します。

*1 日本の教育課程を経て入学する予定の学生(国内学生)を対象とした長期の海外留学。
*2 海外の教育課程を経て入学する予定の学生(国際学生)を対象とした国内留学・企業実習。



海外留学

都立大は世界が求めるグローバル人材の育成を積極的に進めており、その一環として、休学することなく長期留学も可能な交換留学・派遣留学、長期休暇を利用した海外短期研修の機会を提供しています。国際センターでは、留学に必要な語学力や、国際社会で活躍するスキルの獲得を目指す多彩な講座を開講、個別相談も受け付けています。

留学協定校・研修提携校

● 交換留学協定校 ★ 派遣留学協定校 ○ 海外短期研修提携

(2025年3月31日現在)

ヨーロッパ	アジア	北アメリカ	
イギリス ・アバディーン大学 ● ・キール大学 ● ・ノーサンブリア大学 ● ・バンガー大学 ● ・レスター大学 ● ・西イングランド大学 ● ・ロンドン大学シティ校 ● ・ベイズビジネススクール ● ・ロンドン大学アジア・アフリカ学院 ★○ イタリア ・ローマ大学トルヴェルガータ校 ● オーストリア ・ウィーン大学 ●○ オランダ ・ロッテルダム応用科学大学 ● スウェーデン ・ウメオ大学 ● スペイン ・アルカラ大学 ● ・ア・コルーニャ大学 ● ドイツ ・バイロイト大学 ● ・ハノーバー大学 ● トルコ ・サバンチ大学 ●	ノルウェー ・サウスイースタン・ノルウェー大学 ● ハンガリー ・オーブダ大学 ● フィンランド ・ユバスキュラ大学 ● フランス ・リール大学 ● ・レンヌ第2大学 ● ・リヨン・カトリック大学付属語学学校 ○ ポーランド ・ヴロツワフ大学 ● リトアニア ・ヴィリニウス大学 ● ロシア ・トムスク国立大学 ●	インドネシア ・ビナス大学 ● 韓国 ・仁川大校 ● ・金島工科大学 ● ・ソウル市立大校 ● ・中央大校 ● タイ ・タマサート大学 ● ・チュラロンコン大学 ● ・マヒドン大学 ● 台湾 ・国立清華大学 ● ・国立東華大学 ● ・国立台湾師範大学 ●○ 中国 ・華南理工大学 ● ・華東政法大学 ● ・吉林大学 ● ・首都師範大学 ● 香港 ・香港城市大学人文社会科学院 ● マレーシア ・マレーシア工科大学 ● ・マレーシア国民大学 ● ・マレーシアアトラ大学 ● ・マラヤ大学 ●○	アメリカ ・ニューヨーク州立大学オニオン校 ● ・イースタン・ワシントン大学 ● ・ウィスコンシン大学グリーンベイ校 ● ・マーレイ州立大学 ● ・カリフォルニア大学 ● ・リバーサイド校エクステンション ★○ ・ポストン大学 ★ ・ジョージア工科大学付属語学学校 ○ カナダ ・セント・メアリーズ大学 ● ・ニューファンドランドメモリアル大学 ● ・レジャイナ大学 ● ・ウォータールー大学付属レニソンカレッジ ○ オセアニア オーストラリア ・エディス・コーワン大学 ● ・ニューカッスル大学 ● ・マッコリー大学 ● ・カーティン大学 ●

外国人留学生受入れ

都立大では世界各地からの留学生受入れを推進しており、35の国・地域から来日した536人の外国人留学生が学んでいます(2025年5月現在)。勉学や研究に集中できる環境づくりに努めるほか、日本人学生と留学生の交流促進、生活や学業の相談、宿舍の提供、就職のサポート、奨学金や学費減免制度の紹介などの支援を行っています。

外国人留学生支援制度

学修支援	生活支援
<ul style="list-style-type: none"> 日本語授業 留学生向けに、初級・中級・上級・超上級と学習レベルに応じた日本語授業を開講、外国語によるワークショップも行っていきます。 日本語アカデミック・ライティング支援 留学生の日本語によるレポート・論文作成力の向上のため、研修を受けた日本人大学院生が、個別に支援を行っています。 チューター制度 入学1年目の対象留学生には、指導教員の推薦により専攻分野に関係がある学生チューターが配置され、大学の授業や日本での生活を個別に支援します。 留学生ナビゲータ 留学生が日本語の自主学習を行えるよう、日本語教育専門の大学院生スタッフが留学ナビゲータとなり、留学生の日本語学習を個別に支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 留学生相談室 国際センターの教員が日常生活、学業、家族、対人関係、医療、ビザについてなど、留学生が抱える様々な疑問や悩みごとについて相談に応じます。 各種奨学金 国費や都費の奨学金を活用した大学院生の受け入れを行っています。また、私費留学生向けには大学独自の給付型奨学金制度(学部生)があり、民間奨学金の推薦手続きもしています。 国際交流イベント 留学生と日本人学生の交流を深め、日本で快適に生活が送れるよう各種交流イベントを実施しています。

キャリア・就職支援

キャリア形成は、早期から意識することが大切です。都立大が、入学間もない学生に「現場体験型しごと研究(実習)」などのプログラムを提供するのは、キャリアが日常の学びや活動などを通して形成されていくことに早い段階で気付いてほしいからです。学生一人ひとりのキャリアデザインをバックアップし、社会に出るためのサポートを大切にしています。

各種支援・サポートプログラム

CHECK!



●キャリア相談

キャリアコンサルタントの資格を持つ「キャリアカウンセラー」や、本学OBOGで企業等での豊富な経験を持つ「就職相談員」を配置。進路の方向性の相談、応募書類の作成、面接練習など、希望する進路の実現に向け多様な相談に応じています。



●OBOG交流会

社会の一線活躍する本学のOBOGと交流できる機会を設けています。企業訪問の事前相談ができ、自身のキャリアの視野を広げるきっかけになっています。就職資料室では、OBOG訪問可能な卒業生リストも閲覧できます。

●就職活動ガイダンス

学部3年次と大学院博士前期課程1年次を対象に年2回開催。就職活動の心構えや全体の流れなど、具体的な進め方を説明します。後期には就職活動を終えたばかりの先輩から体験談もお話します。

●企業研究セミナー(学内合同企業説明会)

都立大生のために毎年100社近くの企業等が参加。事業内容や展望、組織・職務内容、求める人材などを採用担当者から直接、説明していただきます。

●実践講座

実践講座として、エントリーシート作成講座、面接対策講座、動画選考対策講座を実施しています。講義編と実践編に分け、基礎から応用まで身に付くようサポートしています。

●公務員講座

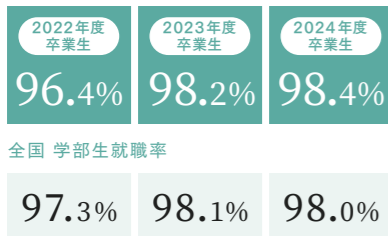
公務員の職種や仕事内容など、試験対策に活かせる支援行事を開催。公務員業務説明会では、国や地方公共団体の人事担当者が参加し、業務内容や求める人物像を説明します。

●就職活動アドバイザー

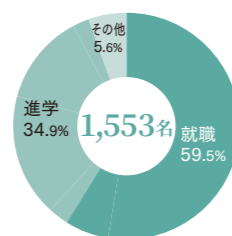
内定した学部4年次や大学院博士前期課程2年次が就職活動に臨む後輩学生の個別相談に応じます。実体験に基づくアドバイスが役に立つと好評です。

就職率・就職状況

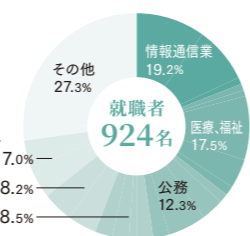
●本学 学部生就職率



●進路内訳(全学部)



●就職者の業種内訳(全学部)



CHECK!



大学院進学支援、大学院生支援制度

●学内進学制度

東京都立大学大学院への進学を希望し、学部において優秀な成績を修めた学生に対して、筆記試験などを免除する学内進学の制度があります。
※人間健康科学研究科(一部学域)、人文科学研究科、経営学研究科は除く。

●早期卒業制度

法学部、理学部、都市環境学部、システムデザイン学部では、大学院への進学を見越し、一定以上の成績を修めた学生を対象に、3年次修了の段階で学部の卒業を認める制度があります。
※法学部は法科大学院進学のための法曹養成プログラムが対象。

●早期履修制度

東京都立大学大学院への進学を希望する本学学部生が、在学中に本学大学院の科目を履修できる制度。大学院進学後に既修得単位として認定。
※経営学研究科、理学研究科、システムデザイン研究科、人間健康科学研究科で実施。

●奨学金制度

東京都立大学の大学院生を対象として、東京都立大学法人独自の奨学金制度を設けています。

●大学院生国際学術会議派遣支援事業

外国で開催される国際学術会議へ大学院生を派遣する際に、支援金を支給する制度です。国際的視野を有する優秀な研究者の育成・確保を図ることを目的とします。

●ティーチング・アシスタント(TA)制度

大学院生の教育力の向上や経済的支援を目的とした制度。学部生向けの授業において教員をサポートするという貴重な経験により、自らのキャリア形成を一步進めることができます。

入試制度一覧

選抜の種類

一般選抜

学力試験を中心とした選抜。大学入学共通テストと、本学個別学力検査(第2次学力試験)等により2段階選抜を、分離分割方式による前期日程と後期日程に分けて実施します。

多様な選抜

一般選抜では測れない能力や資質を持つ学生を受け入れるための選抜です。

●学校推薦型選抜

- 一般推薦入試
- 指定校推薦入試
- 高校特定期型特別推薦入試
- 都立工科高校等特別推薦入試

●総合型選抜

- ゼミナール入試
- 科学オリンピック入試
- グローバル人材育成入試
- SAT/ACT・IB入試
- 研究室探検入試
- 情報I・II利用入試
- T-GLIPs入試 I
- T-GLIPs入試 II

●特別選抜

- 社会人入試
- 帰国子女
- 私費外国人留学生
- 私費外国人留学生大学入学資格試験・統一試験(日本以外)利用
- 秋季入学入試(10月入学)

CHECK!



※各選抜の内容については今後変更する場合があります。詳細は各募集要項等を参照してください。※入試結果(2026年度)については、大学ホームページの入試案内をご確認ください。

募集人員・対象学部一覧

学部・学科	入学定員	募集人員																								
		一般選抜			学校推薦型選抜				総合型選抜					特別選抜												
		前期日程	後期日程	合計	一般推薦	指定校推薦	特別推薦(都立工科高校等)	特別推薦(高校特定期型)	合計	ゼミナール	科学オリンピック	グローバル人材育成	SAT/ACT・IB	研究室探検	情報I・II利用	T-GLIPs入試 I	T-GLIPs入試 II	合計	社会人	帰国子女	留学生(11月)	留学生(2月)	私費外国人留学生	私費外国人留学生大学入学資格試験・統一試験(日本以外)利用	秋季入学(10月入学)	合計
人文社会学部	人間社会学科	110	70	5	75	10	18		28			2						2	1	若干名		4				5
	人文学科	90	48	5	53	5	24		29									2	1	若干名		5				6
	小計	200	118	10	128	15	42		57			4						4	2	若干名		9				11
法学部	法学科	200	150	15	165		28		28											若干名		4	3			7
経済経営学部	経済経営学科	200	100/履修20	20	140		30	20	50			5						5		若干名		5				5
理学部	数理科学科	45	25	10	35	6	4		10											若干名		若干名				若干名
	物理学科	47	24	12	36	5	6		11		若干名									若干名		若干名				若干名
	化学科	48	28	10	38	5	5		10		若干名									若干名		若干名				若干名
	生命科学科	60	20	10	30	6	3		9	15	若干名									19		若干名		2	若干名	2
	小計	200	97	42	139	22	18		40	15	若干名									19		若干名		2	若干名	2
都市環境学部	地理環境学科	30	16	5	21	3			3	3	若干名									若干名		若干名				若干名
	都市基盤環境学科	50	26	8	34	4	7		11		若干名									3	2	5				若干名
	建築学科	50	27	8	35	7	6		13		若干名									若干名		若干名				若干名
	環境応用化学科	60	25	9	34	7	9		16		若干名			4		6				10		若干名				若干名
	小計	255	142	42	184	24	22		46	3	若干名	若干名		4		14	2			23		若干名		2	若干名	2
システムデザイン学部	情報科学科	90	40	14	54	15	11		2	28										5		若干名		3	若干名	3
	電気電子工学科	45	26	9	35	4	5		1	10										若干名		若干名				若干名
	機械システム工学科	90	40	19	59	15	11		1	27										若干名		若干名		4	若干名	4
	創造工学システム工学科	45	26	10	36	4	5		9		若干名									若干名		若干名				若干名
	小計	320	162	60	222	45	31	5	4	85		若干名	若干名		4	5				5		若干名		1	若干名	8
健康福祉学部	看護学科	80	35	4	39	31	7	2	40	1										1	若干名					若干名
	理学療法学科	35	18		18	15			15	2										2	若干名					若干名
	作業療法学科	40	15	3	18	15	5		20	2										2	若干名					若干名
	放射線学科	40	22	5	27	7	6		13												若干名					若干名
小計	195	90	12	102	68	18	2	88	5										5	若干名					若干名	
合計		1,570	879	201	1,080	174	189	27	4	394	23	若干名	9	4	4	5	14	2	61	2	4	5	22	2	若干名	35

(注1) 学校推薦型選抜、総合型選抜および特別選抜の募集人員については、それぞれの区分内の選抜または他の区分の選抜の募集人員に欠員が出た場合、その欠員分を加えることができます。

(注2) 一般選抜の前期日程の募集人員については、学校推薦型選抜、総合型選抜および特別選抜の募集人員に欠員が出た場合、その欠員分を加えることができます。

(注3) T-GLIPs入試 I および II は、2027年度に開設予定の英語学位プログラムを履修する方向けの入試となります。

入学者選抜要項および学生募集要項について

入学者選抜要項および一般選抜・多様な選抜の学生募集要項は本学ウェブサイトに掲載します。

■掲載時期(予定)

- 1 入学者選抜要項 2026年7月下旬
- 2 多様な選抜 学生募集要項 .. 2026年6月中旬以降、募集区分に応じて順次掲載
- 3 一般選抜 学生募集要項 ... 2026年10月下旬

■各要項の入手方法

- 学生募集要項は、本学ウェブサイトに掲載します。
- 指定校推薦入試、高校特定期型特別推薦入試、都立工科高校等特別推薦入試を希望する場合は、各高等学校等の担当者にお問い合わせください。
- 編入学試験については、募集の有無を含め各学部の教務係までお問い合わせください。

CHECK!



キャンパスライフ

図書館



- 本館**
 約72万冊の蔵書のほか、江戸時代の貴重資料も所蔵。ラーニング・commonsを有し、多様な学習スタイルに対応。
- 日野館**
 約17万冊を所蔵。多様な閲覧席やグループ学習室など、システムデザインならではのスタイリッシュな空間を提供。
- 荒川館**
 医療系に特化した約15万冊の資料を所蔵。用途別の閲覧席や医療用シミュレーター等を備え、多様な学習環境を提供。

クラブ・サークル紹介



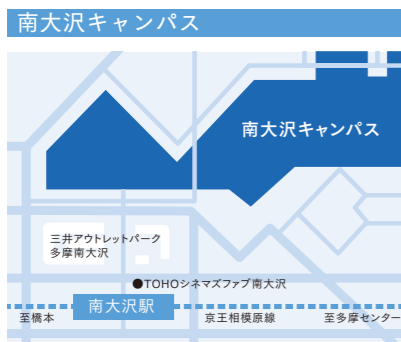
都立大では3つのキャンパスで多種多様なクラブやサークルが日々活動に励んでいます。学年はもちろん学科やコースの垣根なく、同じ興味や関心を持つ学生の交流と成長の場になっています。

学生寮



南大沢キャンパス構内の東側、陸上競技場の隣に学生寮が設置されています。

アクセス



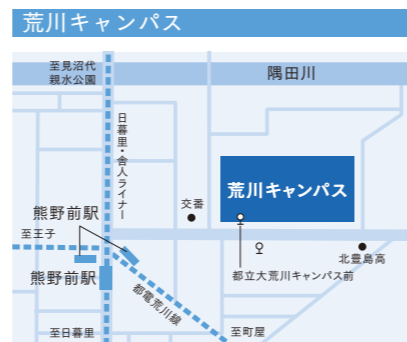
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
TEL. 042-677-1111 (代)

- アクセス
- 京王相模原線「南大沢」駅から徒歩約5分
※改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。



〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6
TEL. 042-585-8606 (代)

- アクセス
- JR 中央線「豊田」駅から徒歩約20分、またはバス・徒歩約15分
 - JR 中央線「八王子」駅からバス・徒歩約25～40分
 - JR 八高線「北八王子」駅から徒歩約15分
 - 京王線「京王八王子」駅からバス・徒歩約25～40分



〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10
TEL. 03-3819-1211 (代)

- アクセス
- JR 山手線・京浜東北線・常磐線・京成線「日暮里」駅、JR 山手線・京浜東北線・東京メトロ千代田線「西日暮里」駅から日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩3分
 - JR 京浜東北線・東京メトロ南北線「王子」駅、東京メトロ千代田線・京成線「町屋」駅から都電荒川線「熊野前」下車徒歩3分
 - JR 常磐線・東京メトロ 日比谷線・千代田線・東武伊勢崎線・つくばエクスプレス「北千住」駅からバスで約15分
 - JR 山手線・京浜東北線「田端」駅からバスで約10分

都立大をもっと知りたいキミへ

都立大は様々なWebメディアによって、多彩なコンテンツを提供したり、情報を発信したりしています。都立大のことをもっと知って、大学への理解を深めよう!

都立大のつながりを世界へ広げる



都立大をもっと詳しく、もっと身近に

公式Webマガジン「メトロノワ」

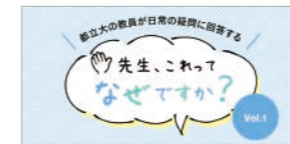
「メトロノワ」は、都立大をもっと詳しく知り、もっと身近に感じられる情報をお届けするWebメディアです。在学生による都立大の紹介、研究内容や授業のレポートなど、オリジナルの連載記事を掲載しています。

CHECK!



連載① 「卒業生は今...!」

「メトロノワ」の人気の連載。都立大を卒業し、社会で活躍されている先輩にインタビュー。在学時代の学びや学生生活、大学での経験と今のお仕事とのつながり、受験生や新入生へのアドバイスなどを伺っています。第1回の卒業生は、フリーアナウンサーの鷲見玲奈さん。「演劇を観てレポートを書くという課題のときは、普段、馴染みのない舞台を観に行きました。こういった経験の積み重ねで、物事に対するハードルがなくなって」と在学時に培ったチャレンジ精神が仕事にも役立っていると話してくださいました。他にも多様な先輩が登場するので、ぜひ読んでください!



連載② 「先生、これってなぜですか?」

「メトロノワ」のユニークな連載の一つ。都立大の教員が日常の疑問に、自身の研究を通してわかりやすく答えるもので、例えば「人がつまづいて転ぶのはなぜ?」という疑問に、人間健康科学研究科人間健康科学専攻ヘルスプロモーションサイエンス学域の樋口貴広教授が、自身の研究テーマである認知科学を関連付けながら答えています。他にも「紙切れが『お金』として価値を持つのはなぜ?」「なぜ9月1日が防災の日なの?」「ら抜き言葉の氾濫で、言葉の意味が互いに通じなくなる?」など、様々な疑問に先生方がすっきりと回答! 読めば、「なるほど!」と賢くなるはず。

and more!

都立大ではXやYouTubeといった公式SNSによって様々な情報を発信しています。日々、更新されていくので、こまめにチェックしてみてください。都立大のことをより詳しく知ることができます。



YouTube

「都立大Channel」では、各学部や大学院のPR、キャンパス案内、部活やサークルの新歓、研究室の活動などを動画で紹介しています。



CHECK!



X

イベントの開催やメンバーの募集、オープンユニバーシティの講座開講やキャンパス周辺の地域情報まで、様々な情報を発信中!



CHECK!



Instagram

都立大公式 Instagram では、都立大の魅力や活動、様々なお知らせを、学生広報チームと共に届けています。@tmu_teampr



CHECK!



アドミッション・センター 高大連携室

都立大の紹介はもちろん、進路選択や高校での勉強、大学生活、探究学習に関する相談にも幅広く対応しています。南大沢や日野キャンパスのツアーも開催しています。高校生の皆さんが大学での「学び」や大学生活にふれて、進路意識を高め、自ら考え行動する力を育めるようサポートします。大学院生や教員スタッフが皆さんをお待ちしています。

- 場所は南大沢キャンパス南門すぐ右手、1号館1階106室。
- 開室時間は平日10-17時、土曜日13-17時。
- キャンパス自由見学・キャンパスツアーも開催しています。詳細はHPまで。
- お問い合わせ: 042-677-2015 (直通) koudairg@tmu.ac.jp



CHECK!



オープンユニバーシティ

都民や社会人等の学習ニーズに応える生涯学習の拠点として、オープンユニバーシティを開設しています。高校生向けには、東京都立大学の教員による大学授業体験講座を開講しています。興味・関心のある講座がありましたら積極的に受講してみてください。(高校生対象の講座は年間約40講座開講)

高校生のための大学授業体験シリーズ (受講料無料・オンライン講座等)

2025年度に実施した講座を一部ご紹介

- 探究の楽しさと一緒に体験しましょう!
- 充実した留学生活を送るために
- 理系大学を満喫するための実践英語
- 人文学の探究入門

CHECK!

